



M510

ユーザーマニュアル

著作権および商標

免責条項

本マニュアルの所有権は Brady Worldwide, Inc. (以後「Brady」とします) に帰属し、その内容は予告なく改訂される場合があります。Brady は何らかの改訂が行われる場合、その改訂内容をユーザーに通知する責任は負いません。

本マニュアルは、著作権で保護されており、無断複写・転載を禁じます。本マニュアルのいかなる部分も、Brady からの事前の署名による同意なしに、いかなる方法によっても複写・複製することはできません。

本文書の準備におけるすべての予防措置が取られている場合でも、Brady は、誤りまたは不作為によるか、不注意、事故、またはその他の要因に起因するステートメントにより引き起こされた損失または損害に対して、当事者にいかなる責任も負いません。Brady はさらに、ここに説明される製品またはシステムの活用または使用から発生する責任を負わず、また本文書の使用から生じる偶発的または結果的な損害に対していかなる責任も負いません。Brady は、市場性または特定目的への適合性に対する保証を一切行いません。

Brady は、信頼性、機能または設計を改善するために、本文書で説明されている製品またはシステムに通知なしに変更を行う権利を保持しています。

商標

M510 は、Brady Worldwide, Inc. の商標です。

Microsoft、Windows、Excel、Access、SQL Server は、Microsoft Corporation の登録商標です。

本書に記載されているブランド名や製品名はすべて該当する企業または組織の商標 (™) または登録商標 (®) です。

© 2024 Brady Worldwide, Inc. 無断転載を禁じます。

改訂 A

Brady Worldwide, Inc.
6555 West Good Hope Road
Milwaukee, WI 53223
bradyid.com

Brady 保証

当社の製品は、購入者が製品を実際使用し、使用目的に適合するかどうかを判断するという了解のもとで販売されています。Brady は購入者に対し、製品に材料および製造上の欠陥がないことを保証しますが、この保証に基づく義務は、Brady が販売した時点で欠陥があったことについて Brady が納得する製品の交換に限定されます。この保証は、購入者から本製品を入手した人には適用されません。

本保証は、商品性または特定目的への適合性に関する黙示の保証、および BRADY 側のその他の義務または責任を含むがこれに限定されない、明示または黙示を問わず、その他の保証に代わるものです。Brady はいかなる状況においても、Brady の製品を使用したこと、また使用できなかったことに関連して発生した、あらゆる種類の損失、損害、費用、結果的損害に対して一切責任を負いません。

安全性および環境について

M510 プリンタを初めて使用する前に、本マニュアルをお読みの上、その内容について把握してください。この取扱説明書は M510 プリンターの主な機能をすべて説明しています。

注意事項

M510 を使用する前に、以下の注意事項について確認してください：

- プリンターを操作する前、ならびにいずれかの手順を実行する前に、すべての説明をよくお読みください。
- 本装置を不安定な表面またはスタンドの上に乗せないでください。
- 本装置の上には何も置かないでください。
- 上部が覆われないようにしてください。
- プリンターは必ず換気の良い場所で使用してください。換気のために設置されている本装置のロットや開口部を塞がないでください。
- 定格ラベルに記載されている電源のみを使用してください。
- 必ず付属の電源コードを使用してください。
- 電源コードの上には何も乗せないでください。
- この機器のお子様の使用は想定されていません。

テクニカル サポートおよび登録

連絡先

Brady Knowledge Base support.bradyid.com/s/ にアクセスしてください。

修理またはテクニカル サポートについては、以下の Web サイトにアクセスして、地域の Brady テクニカル サポート オフィスをご確認ください。

- 米国：bradyid.com/techsupport
- カナダ：bradycanada.ca/contact-us
- メキシコ：bradyid.com.mx/es-mx/contacto
- ラテンアメリカ：bradylatinamerica.com/es-mx/soporte-técnico
- 欧州：bradyeurope.com/services
- オーストラリア：bradyid.com.au/technical-support
- アジア太平洋：brady.co.uk/landing-pages/global-landing-page

登録情報

プリンタを登録するには、以下にアクセスしてください：

- bradycorp.com/register

修理・返却

何らかの理由で修理のために製品を返送する必要がある場合は、修理や交換に関する情報を Brady テクニカルサポートにお問い合わせください。

本マニュアルの説明形式

本書の使用に際しては、本マニュアルの説明形式について理解することが大切です。

- ユーザーの操作が必要な項目については、**太字**のテキストで示されています。
- メニュー、ウィンドウ、ボタン、および画面の参照は、*斜体*で示しています。

目次

1・はじめに

システム仕様	1
物理特性および環境特性	2

2・設定

プリンターの開梱	3
梱包内容	3
パッケージの保管	3
登録	3

プリンター構成部品	4
-----------------	---

電源	5
AC 電源アダプター	5
バッテリー	6
バッテリーの取り付け	7
バッテリーを充電する	7
電源オン	7
自動シャットダウン	8

プリンタ設定	8
言語	8
測定単位	8
日付と時刻	8
停止 / 切断	9
プリンター構成設定	9
印刷履歴	10
フォント設定	10

ラベル作成ソフトウェア	11
Brady Workstation	12

Windows ドライバーのインストール (オプション)	12
--------------------------------------	----

プリンタの接続	13
---------------	----

カートリッジの装填	13
-----------------	----

カートリッジのリサイクル	15
必要な道具	15
カートリッジの分解	15
構成部品のリサイクル	17

付属品	18
バッテリー仕様	18

3・一般操作

画面の構成要素	20
メニュー	21
設定画面	22
機能のキャンセル	23

キーボードの使用	23
複数の文字が含まれるキー	23
ナビゲーションキーと編集キー	24
編集キー	25
印刷関連のキー	27
シンプルなテキストラベルの作成	27
新しいラベルファイル	28
印刷	29
印刷	29
印刷のキャンセル	29
プレビュー	30
マルチ印刷	30
履歴	31
4・プリンターでラベルを編集する	
テキストの編集	33
カーソルの位置合わせ	33
テキストの挿入	33
テキストの削除	34
テキストのフォーマット設定	35
書体	35
フォントサイズ	35
フォントの属性	36
新しいテキスト	36
既存のテキスト	36
上付き文字と下付き文字	37
ラベルおよびエリア	37
ラベルの長さ	37
ラベルまたはエリアの追加	38
ラベルまたはエリアに移動	38
ショートカットキー	39
ラベルまたはエリアの削除	39
ラベルまたはエリアの複製	39
ラベルおよびエリアのフォーマット設定	39
行端揃え	39
回転	40
フレーム	41
反転	42
縦書き	42
縦に複数行のテキストを表示	43
縦書きテキストのエラー	43
記号	44
グラフィック	44
図をインポート	44
グラフィックの追加	45
日付と時刻	45
インターナショナル文字	46

バーコード.....	46
バーコードの設定	46
バーコードの追加	47
バーコードデータの編集	48
シリアル化 (順次データ).....	48
シリアル化を有効にする方法	49
シリアル化の例	49
シンプルな例	49
シンプルな英数字の例	49
詳細、独立したシリアル化の例	49
詳細、依存シリアル化の例	50
シリアル化の追加	50
シーケンスの編集	51
リスト (データのインポート).....	52
データソースの設定	52
データ行の使用	54
ファイルの統合	55
高度な統合	56
データソースの編集	57
5 • ラベルタイプ	
全般.....	59
ワイヤーマーカー	59
フラッグ	60
ターミナルブロック、パッチパネル、66 ブロック	62
銘板.....	64
110 ブロック、Bix ブロック	65
バイアル	67
DesiStrip.....	68
ブレーカーボックス	69
6 • ファイル管理	
プリンターで作成したラベルを保存する	71
ファイルのネーミング基準	71
フォルダ	71
ファイルの保存	71
Brady Workstation ソフトウェアで作成したファイルを保存する	74
ファイルを開く.....	75
ファイルを削除する	75
USB ドライブからファイルを使用する	76
ファイルのインポート	76
ファイルのエクスポート	77
7 • メンテナンス	
ファームウェアのアップグレード.....	78
Brady Workstation を使用したアップグレード	78

USB ドライブを使用したアップグレード	78
プリンターのクリーニングを行う	79
画面のクリーニング	79
プリントヘッドとプラテンローラーのクリーニング	79
センサーのクリーニング	80
8・トラブルシューティング	
エラーメッセージ	81
ハードウェアの問題	83
印刷の質	83
電源オン/オフ (プリンターが動作しない)	85
A・記号	
B・法令遵守	
該当機関へのコンプライアンスおよび承認	97
米国	97
FCC 通知	97
Estados Unidos	97
Aviso de la FCC	97
カナダ	98
欧州	98
RoHS 指令 2011/65/EU、2015/863/EU	98
電池指令 2006/66/EC	99
電池指令 2006/66/EC	99
ユーラシア経済連合 (EAEU)	99
中国	99
台湾	100
トルコ	100
C・ライセンス供与	
QR コード生成ライブラリー	101
RapidJSON	101

1 はじめに

M510 ラベルプリンターには、以下の機能があります。

- さまざまなラベルタイプをプリンター上で簡単に作成できます。または、Brady Workstation デスクトップソフトウェアを使用してラベルを作成できます。(※Brady Workstation は別売りです。)
- 4 フィート (1.2m) の高さからの落下に耐えることができます。
- 長寿命のバッテリー
- バッテリーを充電している間もプリンターを使用できます。
- 2.8" のカラーディスプレイ。
- 簡単に使用できるインターフェース。
- ラベルとリボンカートリッジを容易に取り付け可能。
- Brady 純正カートリッジとインテリジェントに連動するスマートセルテクノロジー。
- 交換可能な NiMH (ニッケル水素) バッテリー。

システム仕様

M510 プリンターの仕様は次のとおりです。

- 重さ 1.5 kg (3.4 lb) (電池パックと素材込み)
- 熱転写印刷機構 300 dpi
- 正確な印刷登録のための光学登録システム
- エラストマーキーボード
- 取り外し可能なニッケル水素バッテリー、1,200 mAh
- 印刷幅：38 mm (1.5 インチ) の最大ラベル幅
- カスタムトゥルータイプフォント
- ラベルの最大印刷長：1,016 mm (40")
- 1 回の充電で最大 1,700 枚の 25.4 mm x 50.8 mm (1 インチ x 2 インチ) のラベルを 25 % の印刷範囲で印刷可能

物理特性および環境特性

M510 プリンターは、以下の物理 / 環境特性を備えています。

寸法	U.S. 単位	メトリック単位
寸法	10.3 インチ (長さ) x 5.9 インチ (幅) x 3.7 インチ (高さ)	262 x 150 x 94 mm
重量 (電池パック付き)	3.1 lb	1.4 kg

注： 以下の表は、M510 プリンターのみに関するものです。消耗品のパフォーマンスは異なる場合があります。

環境	操作	保管
温度 (プリンター) 直射日光の当たる場所でのご 使用はお控えください。	4° ~ 43° C (40° ~ 110° F)	-18° ~ 43° C (0° ~ 110° F)
相対湿度 (プリンター)	20 ~ 90% (結露なきこと)	20 ~ 90% (結露なきこと)
温度 (AC アダプター)	-10° ~ 40° C (14° ~ 104° F)	-20° ~ 85° C (-4° ~ 185° F)
相対湿度 (AC アダプター)	10 ~ 90% (結露なきこと)	5 ~ 95% (結露なきこと)



注意 水周りの近く、直射日光下、または熱を発する機器の近くでプリンターを使用しないでください。

2 設定

プリンターの開梱

慎重に開梱し、プリンターの外観と内部を点検してください。

梱包内容

プリンターを設定する前に、パッケージに以下のアイテムがあることを確認してください。

- M510 プリンター
- ニッケル水素バッテリーパック
- AC アダプター
- USB 接続ケーブル
- M5C-1500-595-WT-BK
- クイック スタート ガイド
- ユーザーマニュアル、クイックスタートガイド、Windows ドライバーの入った USB ドライブ



パッケージの保管

プリンターの返品または修理が必要な場合に備えて、箱を含む元の梱包材は保管しておいてください。



注意 必ず最初にプリンターから充電式バッテリーパックを取り外してから、M510 プリンターを発送してください。

プリンターとバッテリーパックの両方を発送する場合は、プリンターからバッテリーパックを取り外して、元の梱包物に入れてから発送してください。プリンターを発送する際、ニッケル水素バッテリーパックに関する国、州、地方自治体、海外の発送規制について運送業者にお問い合わせください。

登録

プリンターをオンライン (www.bradycorp.com/register) で登録すると、無料の製品サポートおよび更新を受けられます。

プリンター構成部品



1	ファンクションキー	8	カートリッジイジェクトボタン
2	ナビゲーションキー	9	ラベル排出口
3	印刷関連のボタン	10	カッターレバー
4	カバー	11	電源ポート
5	電源ボタン	12	USB デバイスポート (コンピューター接続用)
6	ナンバーパッド	13	USB ポート (USB ドライブ用)
7	ロックレバー	14	カバーを開けるためのフィンガータブ

電源

プリンターへの電力は、バッテリーパックまたは AC 電源アダプタ (同梱) により供給されます。

AC 電源アダプター

このプリンターは、AC アダプター (同梱) での電源を使用できます。アダプタがプラグに差し込まれているときは、バッテリーも充電されます。



注意 M510 プリンター用に承認された Brady AC アダプターのみを使用してください。(M41-51-61-AC)

プリンターにケーブルを挿入するには：

1. 電源ケーブルをアダプターに差し込みます。



2. アダプターケーブルの丸い端をプリンターの右側にある電源ポートに挿入します。



3. コードのもう一方の端を電気のコンセントに差し込みます。

バッテリー



警告 不適切なバッテリーと交換した場合、爆発する危険性があります。使用済み電池は、説明書に従って廃棄してください。



警告 火災、感電、爆発、損傷のリスクを防ぐには：

- プリンターは、43°C (110°F) 以上または 4°C (40°F) 以下の温度で操作しないでください。
- プリンターは、43 °C (110°F) 超または -18 °C (0°F) 未満の温度で保管しないでください。
- バッテリーパックを分解したり酷使したりしないでください。
- バッテリーパック内の部品を開けたり、破損させたり、交換したりしないでください。
- バッテリーパックは、M510 プリンターでのみ使用・充電してください。
- M-NIMH-BATTERY または M-LION-BATTERY 以外の充電式バッテリーパックを M510 プリンターで使用しないでください。
- 金属やその他の伝導性のある物質でバッテリーの端子に触れないでください。



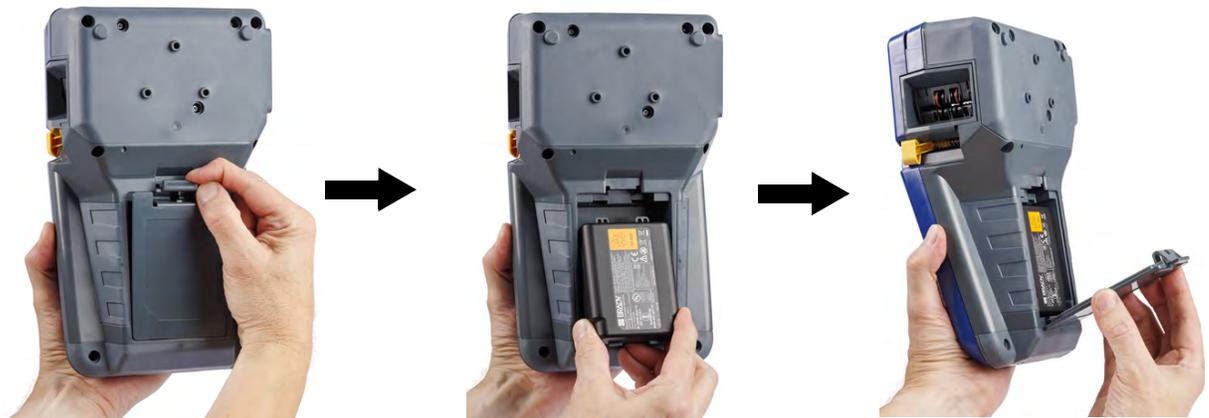
警告

- バッテリーパックは、運搬可能な設計ではありません。使用しないときの損傷を防ぐため、バッテリーパックは元のパッケージに入れるか、または付属品として販売されている M510 ハードケースまたはソフトケースに入れて保管してください。
- バッテリーパックを火花、炎、その他の熱源に近づけないでください。
- バッテリーパックを水に近づけないでください。
- バッテリーパックの上に物を置かないでください。
- 涼しい乾いた場所でのみバッテリーパックを保管してください。
- バッテリーパックは子供の手の届かない場所に置いてください。
- バッテリーの寿命が切れたら、古いバッテリーパックを Brady M510 バッテリーパックとのみ交換してください。
- バッテリーパックは、国、州、地方自治体の規則に従って、適切にリサイクルまたは廃棄する必要があります。

バッテリーの取り付け

バッテリーの設置方法：

1. プリンターの背面にあるバッテリーカバーのリリースラッチを押し下げ、カバーを振って開き、持ち上げて取り出します。
2. バッテリーのラベルを外側に向けた状態で、バッテリーペグをコンパートメント上部のペグスロットに挿入し、バッテリーの底部を所定の位置に押し込みます。
3. コンパートメントの底部にバッテリーカバーのタブを挿入し直してから、カバーを所定の位置にはめ込みます。



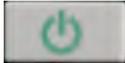
バッテリーを充電する

バッテリーを充電するには：

1. プリンターにバッテリーをセットした状態で、プリンターのプラグをコンセントに差し込みます。
2. 初めて充電するときは、4時間充電します。

電源オン

プリンターをオン、オフにする手順

1. プリンター前面の電源ボタンを押します。 
2. 最初にプリンターをオンにした際、画面の項目を表示する言語を選択します。8ページの「プリンタ設定」を参照してください。

注： プリンターの電源を入れると、システムは必ず初期化プロセスを実行します。このプロセスの一部で、設置されたカートリッジが認識されます。検出されたカートリッジの情報は、ラベルをデザインする際に使用されます。カートリッジを装着しなくてもラベルのデザインは可能ですが、装着しない場合、印刷に使用するカートリッジとラベルデザインが一致しない場合があります。

自動シャットダウン

節電のため、一定時間（デフォルトでは5分間）操作がないとプリンターは自動的に電源が切れます。自動シャットダウン時に画面に表示されていたデータは維持され、次回、[電源]ボタンを押してプリンターを再起動した際に復元されます。アイドル時間を設定したり、プリンターが接続されているときにこの機能を無効にしたりするには、9ページの「プリンター構成設定」を参照してください。

プリンタ設定

キーボードを使用して、言語などの標準的な設定を行います。画面およびキーボードについては、20ページの「画面の構成要素」および23ページの「キーボードの使用」を参照してください。

言語

最初にプリンターの電源を入れたら、すべてのプリンタメニュー、機能、およびデータで表示される言語を選択します。

画面に表示する言語を設定するには：

1. [FN] + [SETUP] を押します。
2. ナビゲーションキーを使って、[言語]がハイライトされるまでメニューを操作します。
3. 上下ナビゲーションキーを使用して、希望する言語を選択します。
4.  を押して、選択を確定します。

測定単位

単位を「インチ」または「ミリメートル」に設定します。

測定単位を設定するには：

1. [FN] + [SETUP] を押します。
2. ナビゲーションキーを使って、[単位]がハイライトされるまでメニューを操作します。
3. 上下ナビゲーションキーを使用して、目的の単位を選択します。
4.  を押して、選択を確定します。

日付と時刻

プリンターの時計を現在の日付と時刻に合わせます。また、現在の日付や時刻をラベルに追加する際に使用する形式を設定します。

日付と時刻を設定するには：

1. [FN] + [SETUP] を押します。
2. ナビゲーションキーを使って、[時刻 / 日付]がハイライトされるまでメニューを操作します。

3.  を押して選択を確定し、時刻と日付の設定を表示します。
4. 画面を操作する方法については、22 ページの「設定画面」を参照してください。この画面の設定のほとんどは自明ですが、以下の情報は役に立つかもしれません。
 - **24 時間表示**：これを選択した場合、時間番号は 1～24 で表示されます。このフィールドをオフにすると、1～12 の時間で表示され、AM と PM が使用されます。
 - **PM[24 時間表示]** を選択した場合は、選択できません。AM の場合はこのチェックボックスをオフに、PM の場合はオンに設定します。
5. ナビゲーションキーを使用して [OK] を選択し、 を押します。
6.  を押すと、メニューが解除されます。または、ナビゲーションキーを使って、次に設定する項目に移動します。

停止 / 切断

一時停止 / カット機能を使用すると、ラベルをカットするために各ラベルの終わりで印刷を一時停止できます。

停止や切断を設定する：

1. [FN] + [SETUP] を押します。
2. ナビゲーションキーを使って、[停止 / 切断] がハイライトされるまでメニューを操作します。
3. 上下ナビゲーションキーを使用して、希望する機能を選択します。
 - **オン**：ラベルをカットできるように、各ラベルの終わりでプリンターは一時停止します。
 - **オフ**：常に次のラベルを一時停止することなく印刷します。
4.  を押して、選択を確定します。

プリンター構成設定

[構成] メニューでは、明るさ、自動シャットダウン、バックフィードの設定、プリンターのクリーニングを行えます。

プリンターの構成を設定するには：

1. [FN] + [SETUP] を押します。
2. ナビゲーションキーを使って、[構成] がハイライトされるまでメニューを操作します。
3.  を押して選択を確定し、プリンターの構成設定を表示します。
4. 画面を操作する方法については、22 ページの「設定画面」を参照してください。
 - **プリンター名**：(オプション)[プリンター名] ボックスを選択し、キーボードを使用してプリンター名を入力します。

- **シャットダウン遅延**：プリンターが自動的にシャットダウンするまでのアイドル状態の時間を分単位で設定します。
 - **シャットダウンしない (AC)**：プリンターが電源に接続されているときにシャットダウンする必要がない場合、このチェックボックスを選択して、自動シャットダウンをオフにします。
 - **ブライトネス**：画面の輝度を変更します。
 - **情報**：ファームウェアバージョン番号を表示します。78 ページの「ファームウェアのアップグレード」を参照してください。
5. ナビゲーションキーを使用して [OK] を選択し、 を押します。
 6.  を押すと、メニューが解除されます。または、ナビゲーションキーを使って、次に設定する項目に移動します。

印刷履歴

過去 10 回分の印刷履歴をプリンターに残すかどうかを選択します。

印刷履歴を設定するには：

1. [FN] + [SETUP] を押します。
2. ナビゲーションキーを使って、[印刷履歴] がハイライトされるまでメニューを操作します。
3. 上下ナビゲーションキーを使用して、希望する機能を選択します。
 - **オン**：プリンターは、過去 10 回分のラベルファイルの使用履歴を保持します。
 - **オフ**：印刷の履歴は保持されませんが、既存の履歴は残ります。
 - **消去**：履歴を削除します。これはオンやオフの設定には影響しません。
4.  を押して、選択を確定します。

フォント設定

プリンターでラベルを作成する際に使用するフォントを選択します。ラベルファイルごとに 1 つのフォントタイプが選択できます。これらの設定は、現在開いているラベルファイルには影響しません。これらは、次に作成される新しいラベルファイルから有効になります。

フォントを設定するには：

1. [FN] + [SETUP] を押します。
2. ナビゲーションキーを使って、[フォント設定] がハイライトされるまで、メニューを操作します。
3.  を押して選択を確定すると、フォント設定が表示されます。
4. 画面を操作する方法については、22 ページの「設定画面」を参照してください。

- **書体**：文字のスタイルを選択します。2つのフォント [Brady Fixed Width] と [Brady Alpine] では、ゼロは真ん中に線を入れたものと入れていないもの (0 または Ø) を表示できます。また、中国語、日本語、韓国 / 朝鮮語のフォントが利用できます。追加のフォントをプリンターにダウンロードすることはできません。
 - **自動**：入力した文字がラベルに収まるように、自動的にサイズを調整します。ラベルの編集中は、画面の左上に現在のフォントサイズが表示されます。
 - **フォントサイズ**：([Auto] を選択した場合は使用できません) テキストのサイズを変更します。デフォルトのフォントサイズを設定します。ラベルの編集時に、行単位でフォントサイズを変更することができます。
 - **属性**：太字、斜体、下線から1つ以上選択できます。デフォルトの属性を設定します。ラベルの編集では、任意の文字に対して属性を変更することができます。
 - **単位**：フォントサイズをポイント (多くのワープロソフトで使われている標準単位) またはミリメートルのどちらで表示するかを選択します。
5. [OK] に移動して  を押します。
6.  を押すと、メニューが解除されます。または、ナビゲーションキーを使って、次に設定する項目に移動します。ラベルにすでにテキストなどの要素が含まれている場合、エディター内のデータがすべて削除されるまで、フォントの変更は有効になりません。34 ページの「ラベルのデータをすべて消去する場合：」を参照してください。
- 注：** [FONT] ボタンを使って、ラベルの編集中にテキストの行のサイズや属性を変更することができますが、ここで [SETUP] メニューで指定した値は、新しいラベルやエリアのデフォルトとして引き続き使用されます。(エリアについての情報は、37 ページの「ラベルおよびエリア」を参照してください。)

ラベル作成ソフトウェア

プリンターでラベルを作成するだけでなく、ラベル作成ソフトを利用することも可能です。パソコンにラベリングソフトウェアをインストールし、プリンターとの接続を設定した後、ソフトウェアを使ってラベルをデザインし、プリンターに送信します。(他の Brady ソフトウェアについては、各地域の Brady ウェブサイトを参照してください。旧式の Brady ラベル作成ソフトウェアでは、プリンターが自動的に検出されない場合があります。本書に記載の情報は、**Brady Workstation** ソフトウェアに適用されるものであることに注意してください。)

Brady Workstation (※Brady Workstation は別売りです。)

Brady Workstation ソフトウェアには、特定の用途向けにラベルの作成を簡素化するためのさまざまなアプリが用意されています。また、カスタム ラベル デザイン向けの、簡単に使用できるアプリも用意されています。以下の Brady Workstation アプリは、M510 プリンターをサポートしています。

- カスタムデザイナー
- カスタムデザイナーライト
- テキストラベル
- 印刷パートナー
- アセットタグ
- ターミナルブロック
- パッチパネル
- スキャン/印刷
- データオートメーション
- バッチ印刷
- ラベル設定
- プリンター

Windows ドライバーのインストール (オプション)

Brady Workstation ソフトウェアを使用している場合は、Windows ドライバをインストールする必要はありません。13 ページの「プリンタの接続」に進んでください。

旧式の Brady ソフトウェアまたは他社のソフトウェアを使用する場合は、Windows ドライバーのインストールが必要となります。ドライバーインストールツールは、プリンター付属の USB ドライブに含まれています。

Windows ドライバーをインストールするには：

1. USB メモリを Brady Workstation ソフトウェアがインストールされているコンピューターの USB ポートに挿入します。
2. Windows Explorer で、USB ドライブにある Brady M510 プリンタードライバーのフォルダを開きます。
3. [M510_Printer_Driver.exe] をダブルクリックし、画面の指示に従ってください。

プリンタの接続

ラベル作成ソフトウェアには、USB ケーブルを使用して接続します。

USB 2.0 を介してコンピューターに接続するには、同梱の USB ケーブルでプリンタとコンピューターをつなぎます。USB ケーブルで接続された時点で、Brady Workstation ソフトウェアによりプリンタが自動的に検出されます。

注： Brady Workstation ソフトウェアを使用していない場合は、プリンタドライバをインストールする必要があります。プリンタに付属の USB メモリにある「ドライバインストールガイド」の PDF ファイルを参照してください。



カートリッジの装填

M510 プリンターは、リボンとラベルが 1 つのカートリッジになった M4、M4C、M5、および M5C シリーズカートリッジを使用しています。Brady のカートリッジにはスマートセル技術が搭載されており、プリンタと Brady のラベル作成ソフトウェアがラベルの種類を認識し、多くのラベルフォーマットの詳細を自動的に設定できます。Brady の正規品ロゴがあるカートリッジのみを使用してください。



ディスプレイ下部のステータスバーは、カートリッジ内のラベルとリボンの残量を示すものです。カートリッジを使い切ったら、地域の規則に従ってリサイクルしてください。消耗品が残っているカートリッジを保管する必要がある場合は、涼しく乾燥した場所に保管してください。カートリッジの使用期限は 2 年です。



注意 カートリッジベイには、静電気放電（ESD）により損傷を受ける可能性のある部品やアセンブリが含まれていますので、ご注意ください。カートリッジの出し入れの際には、機器が破損しないように注意が必要です。

カートリッジを交換するには：

1. フィンガータブを上げ、プリンターカバーを開きます。
2. ロックレバーを左にスライドさせると、カートリッジのロックが解除されます。



3. カートリッジイジェクトボタンを押し下げます。
4. カートリッジを持ち上げ、コンパートメントから取り出します。1.5 インチカートリッジの場合は、フィンガーカットアウトを使用してカートリッジをつかみます。短いカートリッジの場合は、カートリッジのタブを持ち上げます。



5. カートリッジのラベルを上向きにした状態で、カートリッジ取り付け部にカートリッジを置き、カチッという音がするまでゆっくり押し込みます。1/2 インチまたは3/4 インチのカートリッジを使用する場合は、カートリッジを正しい位置に押し下げる際にヒンジ付きタブを持ってください。
6. ロックレバーを右側にスライドさせると、カートリッジがロックされます。
7. カチッと音がするまでカバーを押し下げて閉じます。

カートリッジは涼しい乾燥した場所に保管してください。

カートリッジのリサイクル

カートリッジは各地の規制に従ってリサイクルする必要があります。リサイクルの前に、使用済みのカートリッジを個々の構成部品へと分解しなくてはなりません。その後、それぞれの構成部品を適切なリサイクル容器に入れてリサイクルします。

必要な道具

- 1/4 インチ（約 6 mm）のマイナスドライバー
- 保護メガネ
- 保護手袋



注意 リボンまたはラベル カートリッジを分解する際は、個人保護具を常に着用してください。

カートリッジの分解

カートリッジを分解するには：

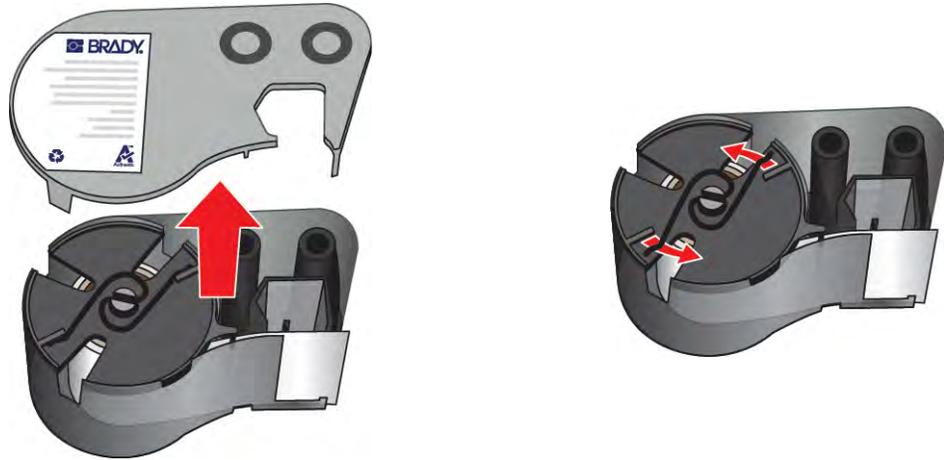
1. マイナスドライバーを使い、ドライバーの刃をスマートセルの角の下に当て、持ち上げるようにしてカートリッジ底面のスマートセルを取り外します。

チップはプラスチック製クリップで固定されており、ごく簡単に外せます。

2. カートリッジの細い方から、マイナスドライバーをカートリッジの継ぎ目に差し込み、ドライバーを少しねじって外側のハウジング 2 枚を緩めます。縫い目の周りの様々な箇所を繰り返します。



3. ハウジングの上部をベースから切り離します。ディスクの上にある金属バネの片方の足をクリップからこじ開けます。スプリングとディスクは、ハウジングから飛び出します。



4. リボンスプールを取り外します。リボンを巻き取り、スプールから切り離します。



5. ラベルを持ち上げてカートリッジハウジングから取り出し、ラベルコア内部から黒いプラスチックシリンダーを取り出します。



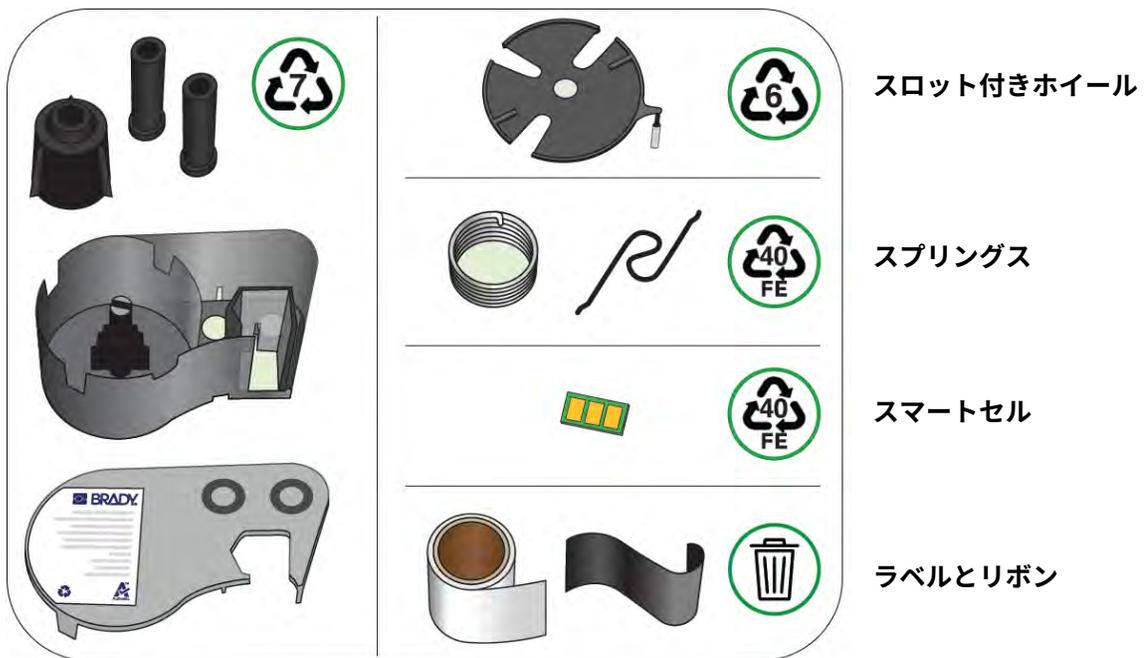
6. 黒いプラスチック製の円筒の内側から、金属製のスプリングをスライドさせて取り出します。



構成部品のリサイクル

以下の構成部品をカートリッジから取り外し、下記のガイドラインに従ってリサイクルしてください。

ハウジングと
スプール



構成部品	材質	リサイクル容器
ハウジングとスプール	ポリカーボネート (PC)	#7 プラスチック
スプリングス	金属	#40 金属
スマートセル	電子部品	電子廃棄物
スロット付きホイール	ポリスチレン	#6 プラスチック

付属品

M510 プリンターでは、以下の付属品をご利用になれます。販売業者から別売りで購入できます。

- マグネット (M51-MAGNET)
- ユーティリティフック (M51-HOOK)
- 持ち運び用ハード ケース (M510-HC)
- 持ち運び用ソフトケース (BMP-SC-1)
- AC アダプター (M41-51-61-AC)
- 交換用ニッケル水素バッテリー (M-NIMH-BATTERY)
- リチウムイオンバッテリー (M-LION-BATTERY)
- USB ケーブル (M-USB-103788)

バッテリー仕様

	リチウムイオン	ニッケル水素
容量	2700mAh	1200mAh
重量	192 g (0.42 ポンド)	230 g (0.51 ポンド)
性能	1 回の充電で最大 4400 枚のラベルを印刷できます。	1 回の充電で最大 1700 枚のラベルを印刷できます。

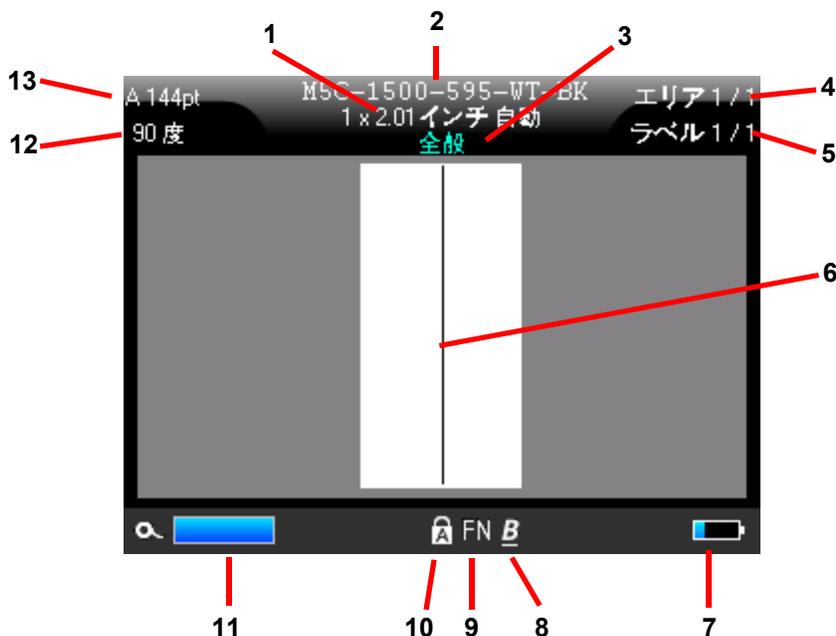
3 一般操作

この章では、プリンターの一般的な操作方法について説明します。

画面の構成要素	20
メニュー	21
設定画面	22
機能のキャンセル	23
キーボードの使用	23
複数の文字が含まれるキー	23
ナビゲーションキーと編集キー	24
編集キー	25
印刷関連のキー	27
シンプルなテキストラベルの作成	27
新しいラベルファイル	28
印刷	29
印刷	29
プレビュー	30
マルチ印刷	30
履歴	31

画面の構成要素

画面には、取り付けられているカートリッジ内のラベル供給品とリボンが表示されます。一度に1つのラベルが表示されます。多数のエリアがあるラベルの場合は、一度に1つのエリアのみが表示されます。



- ラベルサイズ**：ラベルサイズが*自動*と表示されている場合、連続ラベル供給品（プレサイズではなく）が、ラベルコンテンツに合わせて自動的にサイズ調整されるように設定されていることを示します。
- カートリッジ**：取り付けられているカートリッジの部品番号です。カートリッジが取り付けられていない場合は、[Brady M510]と表示されます。
- ラベルタイプ**：ワイヤーマーカー、ターミナルブロック、バイアルなど、用途に応じたラベルを編集するためのツールも用意されています。[第5章：ラベルタイプ](#)を参照してください。
- エリア数**：ラベル上のエリアの総数および現在編集中的のエリア。[37 ページの「ラベルおよびエリア」](#)を参照してください。
- ラベル番号**：ファイル内のラベルの総数および現在編集中的のラベル。ラベル間の移動については、[24 ページの「ナビゲーションキーと編集キー」](#)を参照してください。
- カーソル**：データ入力のための挿入ポイントを示します。
- バッテリー残量**：バッテリー残量が10%になると、メーターが赤くなります。
- 文字属性**：太字、斜体、下線が設定されている場合、アイコンはどれが設定されているかを示します。空白の場合、文字属性が設定されていないことを意味します。Bはボールド、Iはイタリック、Uは下線を意味します。複数の属性が設定されている場合、組み合わせられます。上の画像で、斜体字で下線のあるBは、3つの属性がすべて適用されていることを表しています。

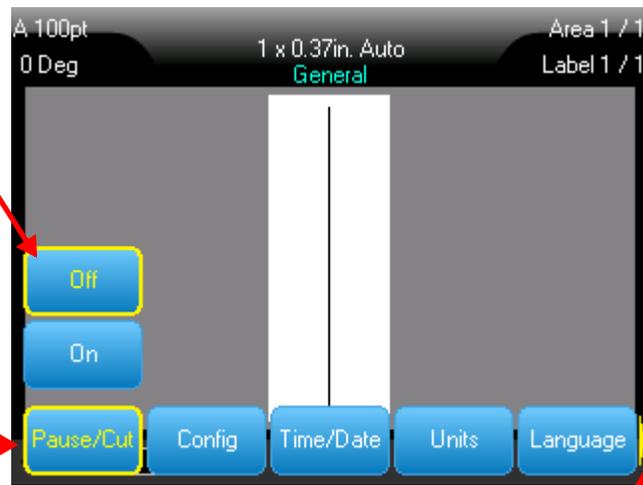
9. **機能**：この FN という文字は、[FN] キーが押されていることを示します。オレンジ色の文字が書かれたキーと組み合わせて使用します。[FN] キーを押しながら他のキーを押すと、オレンジ色で書かれた機能が実行されます。
10. **キャップスロック**：このマークは、キャップスロック (大文字ロック) がオンになっているときに表示されます。
11. **カートリッジの残量**：カートリッジ内のラベルとリボンの残量。ラベル供給品の残量が 10% になると、ゲージが赤くなります。
12. **回転**：ラベルを回転させる角度。40 ページの「回転」を参照してください。
13. **フォントサイズ**：「A」の文字は、自動に設定されていることを示します。35 ページの「フォントサイズ」を参照してください。

メニュー

メニューから、プリンター設定、ラベル設定、フォントなどのコントロールにアクセスすることができます。キーボードのファンクションキーを使って、メニューを開くことができます。(ファンクションキーの位置については 20 ページの「画面の構成要素」を、使用方法については 23 ページの「キーボードの使用」をご参照ください)。ナビゲーションキーを使って、メニューをスクロールできます (24 ページの「ナビゲーションキーと編集キー」をご覧ください。)

画面の下にメニューが表示されます。サブメニューは、メインメニューの選択項目の上に、縦に開きます。選択されたメニュー項目は黄色のボーダーでハイライトされます。

3. サブメニューで選択された項目。
2. サブメニューは、メインメニューの項目の上に垂直に表示されます。
1. メインメニューが下に表示されます。



4. 黄色の矢印は、さらに多くのメニューがあることを示します。メニューをスクロールするには、ナビゲーションキーを使用します。

メニューの項目を選択するには：

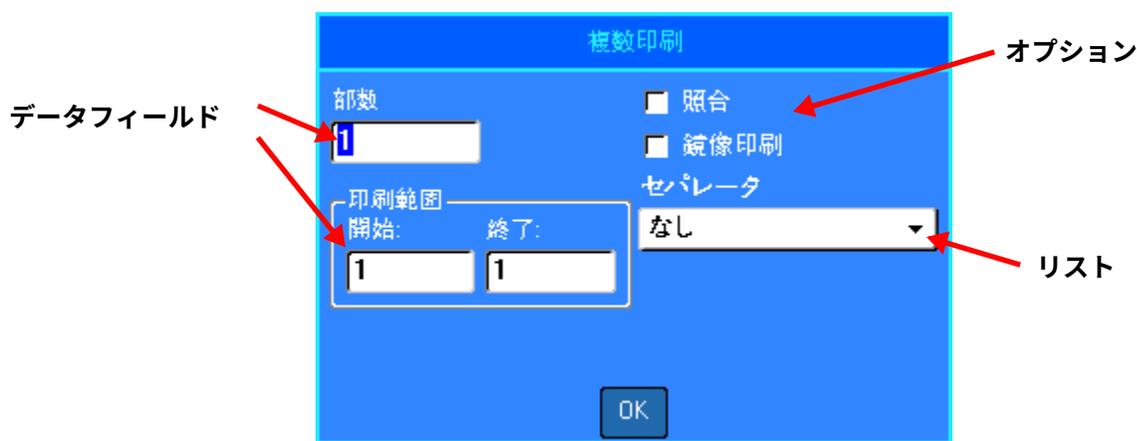
- ナビゲーションキーを使って、メニューを操作します。目的のオプションがハイライトされたら、 を押します。詳細については、24 ページの「ナビゲーションキーと編集キー」を参照してください。

変更を加えずにメニューを閉じるには：

- バックスペースキーを押します。  すべてのメニューを終了するためには、場合によりバックスペースを複数回押す必要があります。または、[FN] +  を押して、すべてのメニューを終了します。

設定画面

一部のメニュー項目は、設定するためのコントロール画面が表示されます。



選択を加えるには：

- ナビゲーションキーで設定項目を移動し、目的の設定項目をハイライト表示します。
-  を押して、ハイライトされた選択項目を選びます。
- データを入力するには、キーボードで入力するか数字パッドを使用してから、 を押します。
- リストを開くには、そのリストをハイライト表示して、 を押します。ナビゲーションキーを使って選択し、 を再度押します。
- 変更を保存するには、ナビゲーションキーを使って画面上の [OK] ボタンをハイライトし、 を押します。
- キャンセルする (変更を維持せずに画面を残す) には、キーボードの  を押します。

キーボードを使って選択する方法の詳細については、23 ページの「キーボードの使用」を参照してください。

機能のキャンセル

変更せずにメニューや設定画面を終了するには、バックスペースキー  を押します。機能の途中でバックスペースを押すと、すぐに画面の機能が終了します。機能を完全に終了するためには、場合によりバックスペースを複数回押す必要があります。

キーボードの使用

複数の文字が含まれるキー

白色：プリンターのほとんどのキーは、文字や画像が白色で表示されています。キーを押して機能を実行するか、文字を入力します。

オレンジ：また、ほとんどのキーの右上に、オレンジ色のテキストがあります。オレンジ色の機能または文字は、[FN] キーを押しながらオレンジ色のついたキーを押してください。

キー上の白い文字を入力する場合は、そのキーを押します。

[SHIFT] キーを押しながら文字キーを押すと、大文字と小文字が入れ替わります (N が n になるなど)。



キー上のオレンジ色の文字を入力するには、[FN] キーを押しながらキーを押します。

大文字と小文字を切り替えるには、[FN] + [SHIFT] を押しながら文字キーを押します (Ñ の代わりに ñ)。

次の表は、文字を入力する以外の機能を持つすべてのキーのリファレンスです。

ナビゲーションキーと編集キー

キー	説明
ナビゲーションキー 	ナビゲーションキーは、このボタンの外周にある矢印キーです。 <ul style="list-style-type: none"> • テキストの行内で、カーソルを左または右に一度に一文ずつ移動するか、一度に一行ずつ上下に移動します。 • メニューでは、主なメニューの選択を左右、二次メニューまたはサブメニューの選択は上下に移動します。 • 設定画面では、フィールドを上下左右に移動します。ドロップダウンリストのあるフィールドでは、[OK]を押したあと、リストのカーソルを上下に移動します。 • プリントプレビューでは、1つのラベルを左右に、または複数のラベルを上下にスクロールします。
[OK] 	ナビゲーションキーの中央に位置します。 <ul style="list-style-type: none"> • メニューの項目や属性を受け入れます。 • 新たな空白の行をラベルに追加します。
[FN] 	スペースバーの左側に位置します。 <ul style="list-style-type: none"> • 他のキーと組み合わせて使用します。オレンジ色の文字や記号は、[FN]と組み合わせたときのキーの機能を示しています。[FN]キーを押しながら、別の機能のあるキーを押します。 • アルファベットキーの特殊文字にアクセスするのに使用。
[NEXT AREA]	複数のエリアがあるラベルで、現在のエリアから次のエリアに移動します。エリアの説明については、 37 ページの「ラベルおよびエリア」 を参照してください。
[FN] + [PREV AREA]	複数のエリアがあるラベルで、現在のエリアから前のエリアに移動します。
[NEXT LABEL]	複数のラベルがあるファイルで、現在のラベルから次のラベルに移動します。
[FN] + [PREV LABEL]	複数のラベルがあるファイルで、現在のラベルから前のラベルに移動します。
エリア間の移動 [FN] + 	複数のエリアがあるラベルで、現在のエリアから前後のエリアに移動します。エリアとその追加については、 37 ページの「ラベルおよびエリア」 を参照してください。
ラベル間の移動 [FN] + 	複数のラベルがあるファイルで、現在のラベルから前後のラベルに移動します。ラベルの追加については、 38 ページの「ラベルまたはエリアの追加」 を参照してください。

キー	説明
テキストをハイライト表示 	編集画面で、テキストを 1 文字ずつ左か右にハイライト (選択) して、すでに入力されたテキストのフォントの属性 (太字、イタリック、下線) を有効にすることができます。
フォントサイズの変更 	編集画面で、フォントサイズを 1 ポイントずつ大きくするか小さくすることができます。

編集キー

キー	説明
ENTER	<ul style="list-style-type: none"> • 新たな空白行をラベルに追加します。 • メニューの項目や属性を確定します。(OK キーと同じように機能。)
Backspace 	<ul style="list-style-type: none"> • エディターでは、カーソルから左に移動しながら、1 文字ずつ削除します。 • メニューを終了します。(完全に元に戻るには、場合によりバックスペースを何度も押す必要があります。また、[FN] + [CLEAR] で完全に終了させることができます。)
CAPS LOCK	データを入力する際に、テキストを大文字または小文字にロックするトグルボタンとして機能します。 注： テキストは大文字がデフォルト設定なので、キャップスロックキーを使用すると小文字に切替わります。
[FN] + [CLEAR]	<ul style="list-style-type: none"> • ラベルのデータを消去、またはすべてのラベルを削除します。 • メニューオプションや機能をキャンセルします。
[SHIFT]	スペースバーの右側に位置します。 Caps Lock がオフの場合に単一の文字と同時に使用すると、その文字を大文字にできます。Caps Lock がオンになっている場合は、文字の前にある [SHIFT] をクリックすると、小文字になります。
[FN] + [SUP]	数字パッドの「8」の上に位置します。 <ul style="list-style-type: none"> • 次に入力する文字を上付き文字フォーマットにして、テキストの行のやや上部に表示されるようにします。 • 複数の文字をハイライトしてから使用すると、それらの文字が上付きで配置されます。(文字のハイライト表示の詳細については、25 ページの「テキストをハイライト表示」を参照してください。)

キー	説明
[FN] + [SUB]	<p>数字パッドの「0」の上に位置します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 次に入力する文字を下付き文字フォーマットにして、テキストの行のやや下部に表示されるようにします。 複数の文字をハイライトしてから使用すると、それらの文字が下付きで配置されます。(文字のハイライト表示の詳細については、25ページの「テキストをハイライト表示」を参照してください。)
[DATE]	プリンターに設定する現在の日付を挿入します。
[TIME]	プリンターに設定する現在の時刻を挿入します。
[LABEL]	<p>現在のラベルファイルのみに影響するオプションを含むメニューを開きます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ラベルを追加、削除、またはラベルに移動します。37ページの「ラベルおよびエリア」を参照してください。 フレームを、ラベルの周辺に揃える、周辺で回転、または周辺へ配置します。39ページの「ラベルおよびエリアのフォーマット設定」を参照してください。
[SHIFT] + [LABEL]	ラベルを追加します。38ページの「ラベルまたはエリアの追加」。
[FN] + [AREA] ([FN] + [SHIFT] + [LABEL])	ラベル上のエリアを追加、削除、フォーマット設定するためのメニューを開きます。これは、連続ラベルでだけ実行可能です。38ページの「ラベルまたはエリアの追加」を参照してください。
[LABEL TYPE]	作成するラベルの種類を選択するメニューを表示します。これにより、用途(電線マーキング、フラッグ、プレーカーボックスなど)に応じた、適切なレイアウトのラベルが設定されます。第5章：58ページの「ラベルタイプ」を参照してください。
[FN] + [FILE]	ファイルを保存、開く、削除、インポート、エクスポートするためのファイルメニューを表示します。第6章：71ページの「ファイル管理」を参照してください。
国際 	発音区別符号やアクセント記号などを含む国際的なアルファベットに固有の文字にアクセスできます。46ページの「インターナショナル文字」を参照してください。
[FN] + [SETUP]	プリンターの設定を行うためのメニューを表示します。8ページの「プリンタ設定」を参照してください。
[FONT]	フォントサイズと属性(太字や斜体など)を提供します。10ページの「フォント設定」を参照してください。
[SYMBOL]	プリンターで利用できるさまざまな記号(グラフィック)にアクセスします。44ページの「記号」を参照してください。

キー	説明
[FN] + [GRAPHICS]	ユーザーがプリンターに読み込んだグラフィックにアクセスできます。 44 ページの「グラフィック」 を参照してください。
[SERIAL]	ラベルに順次データ、つまり 1 つのラベルから次のラベルに順次増えていく (または減っていく) 値を追加します。 48 ページの「シリアル化 (順次データ)」 を参照してください。
[LIST]	書式化された単一のラベル (メインドキュメント) や構成されたデータソースから多様な情報を含む複数のラベルを作成できます。 52 ページの「リスト (データのインポート)」 を参照してください。
バーコード 	バーコードをラベルに追加します。 46 ページの「バーコード」 を参照してください。

印刷関連のキー

スクリーンの左側、ナビゲーションキーの上にある 3 つのキーのセットです。

キー	説明
[PRINT]	ラベルファイル内のすべてのラベルをプリントします。
[FN] + [MULTI]	印刷前に、オプションを表示して、さまざまな印刷パラメータ (コピー数、印刷範囲やミラー印刷など) を設定します。 30 ページの「マルチ印刷」 を参照してください。
[PREVIEW]	ファイル内のすべてのラベルについて、印刷時の状態をプレビューできます。 30 ページの「プレビュー」 を参照してください。
[FN + HISTORY]	最近印刷したファイルを一覧表示します。 31 ページの「履歴」 を参照してください。
[FEED]	ラベルをプリンターに送り、ラベルを切り取るために適切に位置合わせします。

シンプルなテキストラベルの作成

このセクションでは、基本的な編集手順で、最小フォーマットのテキストラベルを作成して印刷する方法について説明します。より詳細な情報については、[33 ページの第 4 章：プリンターでラベルを編集する](#)を参照してください。

注： また、プリンターでは、ワイヤーマーカーやターミナルブロックラベルなど、さまざまな種類のラベルを簡単にセットアップできます。[58 ページの第 5 章：ラベルタイプ](#)を参照してください。

テキストのみを含むラベルを作成するには：

1. カートリッジが取り付けられ、電源がオンになっていることを確認します。
2. ラベルタイプで、**一般**が選択されていることを確認します。ラベルの画像のすぐ上にあるスクリーンを見てください。**一般**と表示されていない場合は、次のようにします。
 - a. **[Label Type]** キーを押します。
 - b. ナビゲーションキーの左矢印と右矢印を使用して、**[一般]** をハイライト表示します。
 - c.  を押します。

画面には、ラベルの画像が表示されます。点滅している垂直のラインはカーソルで、プリンターを使用して作成するすべてのラベルの開始点です。

3. 必要に応じたテキストを入力します。
データを入力しているとき、画面全体にカーソルが移動します。プリンターのセットアップで定義された標準フォントが有効になります。10 ページの「[フォント設定](#)」を参照してください。
4. キーボードの **[ENTER]** キーを押すと改行します。
5. テキストの挿入、削除、フォーマット設定を行う場合は、33 ページの「[テキストの編集](#)」および 35 ページの「[テキストのフォーマット設定](#)」を参照してください。

ラベルを印刷するには、29 ページの「[印刷](#)」を参照してください。

新しいラベルファイル

ラベルファイルを編集した後、ラベルは画面に残ります。新しいファイルを開始する前に、既存のファイルをクリアする必要があります。

(現在のラベルファイルに別のラベルを追加する場合は、38 ページの「[ラベルまたはエリアの追加](#)」を参照してください)

新規ラベルファイルを開始するには：

1. 必要であれば、現在のラベルを保存します。71 ページの「[プリンターで作成したラベルを保存する](#)」を参照してください。
2. **[FN] + [CLEAR]** を押します。
3. **[すべて消去]** を選択します。
4. ワークスペースからすべてのラベルを削除するかどうか尋ねられたら、ナビゲーションキーを使用して **[はい]** を選択します。  を押します。その前にラベルを保存していた場合は、保存済みのファイルは消えません。
5. 次のラベルファイルのデータを入力するか、**[LABEL TYPE]** ボタンで別のラベルの種類を選択します。

印刷

M510 プリンターから印刷する場合は、いくつかのシナリオがあります。

- プリンターでラベルを作成し、エディターから印刷する。29 ページの「印刷」を参照してください。
- Brady Workstation でラベルを作成し、印刷する。Brady Workstation アプリのヘルプを参照してください。
- ファイルを保存して後で印刷する。プリンターで作成したラベルファイルを保存したり、Brady Workstation からファイルを送信したりすることができます。Brady Workstation からのファイルは、印刷に必要なすべての情報を含む印刷ジョブとして保存されます。印刷ジョブはプリンター上で編集できず、印刷のみ可能です。71 ページの「プリンターで作成したラベルを保存する」および 74 ページの「Brady Workstation ソフトウェアで作成したファイルを保存する」を参照してください。

次のセクションでは、プリンターの印刷関連キーについて説明します。

印刷

コンピューターのソフトウェアから印刷する方法については、お使いのソフトウェアの説明書を参照してください。

セットアップと接続については、11 ページの「ラベル作成ソフトウェア」および 13 ページの「プリンターの接続」を参照してください。



注意 カッターの近くに指を入れないでください。指をはさんだり切ったりする可能性があります。

プリンターで開いているラベルを印刷するには：

1. キーボードの [PRINT] を押してラベルを印刷します。
2. ラベルの印刷が終わったら、カッターレバーを最後まで押し下げ、ラベルをカットします。

印刷はバックグラウンドで実行されます。このため、ファイルの印刷中でも新しいラベルを継続して編集または作成できます。

カートリッジが切れる、故意にカバーを開く、または印刷ジョブが中断されると、システムは自動的に印刷ジョブを停止し、メッセージを表示します。画面の手順に従って印刷を再開します。

印刷のキャンセル

印刷ジョブをキャンセルするには、[SHIFT] + [FN] + [PRINT] を押します。



プレビュー

印刷前にラベルファイルを確認するには、プレビュー機能を使用します。

ラベルのプレビュー：

- [PREVIEW] を押します。

ラベルのスクロール：

- 左右矢印のナビゲーションキーを使用して、複数のラベルをスクロールできます。
- 上下矢印のナビゲーションキーを使用して、複数のエリアをスクロールできます。
(エリアの説明については、37 ページの「ラベルおよびエリア」を参照してください)

印刷プレビューから直接印刷する：

- [PRINT] キーを押します。

印刷プレビューを終了して、編集画面に戻る：

- [← CLEAR] を押します。

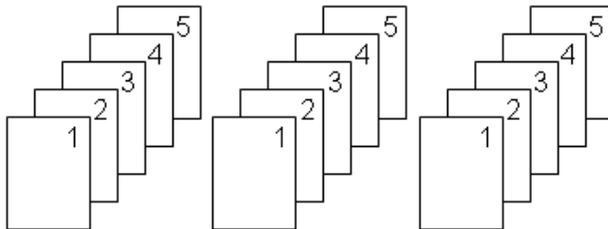
マルチ印刷

複数枚印刷では、ファイル内のすべてのラベルではなく、ラベルを複数枚印刷したり、ラベルの範囲を指定して印刷したりすることができます。

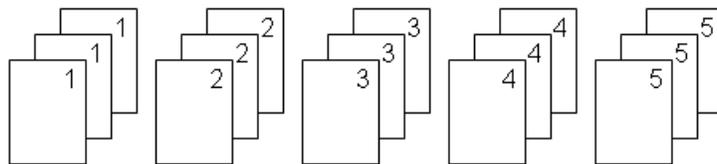
マルチ印刷オプションを使用するには

1. [FN] + [MULTI] を押します。[マルチ印刷] 画面が表示されます。
2. 選択してください。画面のヘルプについては、22 ページの「設定画面」を参照してください。
 - **部数**：コピー枚数を入力します。
 - **印刷範囲**：[開始] フィールドを選択し、印刷する最初のラベル番号を入力します。
[終了] フィールドを選択し、印刷する最後のラベルの番号を入力します。
 - **照合**：照合は、各ラベルの複数枚を印刷する順序を決定します。例えば、コピー枚数を 3 枚に設定し、ラベルが 5 枚入っているとします。

[照合] を選択すると、
5つのラベルを3セット
入手できます。



[照合] をオフにする
と、ラベル1が3部、
次にラベル2が3部、
というようになります。



- **ミラー印刷**：ミラー印刷では、ラベルのすべてのデータを反転して、ミラーイメージを提供します。ミラーリングは、印刷済みラベルにのみ表示されます。ミラーリング印刷はラベル全体に適用され、個々のエリアのデータをミラーリングすることはできません。



- **セパレータ**：連続ラベルサプライでさまざまなラベルを区切るには、ドロップダウンリストからセパレータを選択して追加します。



3. ナビゲーションキーを使用して **[OK]** を選択し、 を押します。

履歴

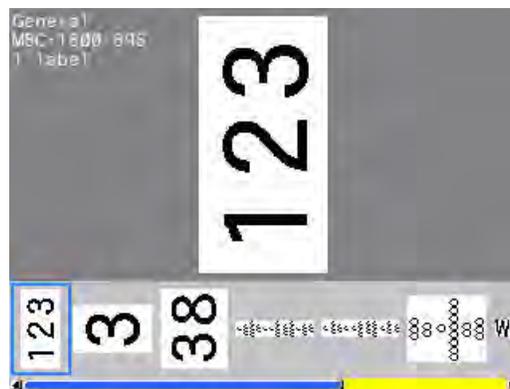
印刷履歴は、最近使用したファイルに容易にアクセスできる便利な機能です。*印刷履歴*をオンにすると、エディターから作成し印刷された直近 10 件のラベルファイルを保持します。外部から取り込んだラベルは、履歴に表示されません。このオプションの設定の詳細については、10 ページの「[印刷履歴](#)」を参照してください。

注： プリンターで作成したラベルにのみ有効です。

履歴を使用するには：

1. **[FN] + [HISTORY]** を押します。

以前に印刷されたファイルのリストが印刷画面の最下部に表示されます。これらのファイルはどれでも再度印刷できます。



2. 印刷したいファイルを選択します。

3. **[PRINT]** を押します。
再度印刷するファイルと現在インストールされているカートリッジに互換性がない場合は、その旨を伝えるメッセージが表示されます。
4. 修正するには、エラーメッセージが示しているカートリッジを取り付けます。
5. メッセージを解除してから **[PRINT]** を押します。

4 プリンターでラベルを編集する

この章では、一般ラベルタイプについて説明し、以下の編集・フォーマット設定作業について情報を提供します。

- 入力済みのテキストを変更する [33 ページの「テキストの編集」](#) を参照してください。
- テキストのフォーマットを設定する [35 ページの「テキストのフォーマット設定」](#) を参照してください。
- 複数のラベルやラベル上の複数のエリアを含める [37 ページの「ラベルおよびエリア」](#)。
- 記号を追加する [44 ページの「記号」](#) を参照してください。
- グラフィックを追加する [44 ページの「グラフィック」](#) を参照してください。
- 日付と時刻を追加する [45 ページの「日付と時刻」](#) を参照してください。
- 国際文字を追加する [46 ページの「インターナショナル文字」](#) を参照してください。
- 発音区別符号付きの文字を入力する [46 ページの「バーコード」](#) を参照してください。
- バーコードを追加する [46 ページの「バーコード」](#) を参照してください。
- 順次データを追加します。 [48 ページの「シリアル化 \(順次データ \)」](#) を参照してください。
- リストを追加する [52 ページの「リスト \(データのインポート \)」](#)。

注： パイプマーカ―や安全ラベルなど、特定の用途に向けたラベルの作成については、[第 5 章：58 ページの「ラベルタイプ」](#) を参照してください。

テキストの編集

エラーのあるテキストを入力したか、ラベルの内容またはフォーマットを変更したい場合は、印刷の前に情報を編集します。

カーソルの位置合わせ

カーソルは、ラベル上のテキストやその他のデータを入力する位置を示す垂直線です。 [20 ページの「画面の構成要素」](#) を参照してください。

テキスト編集時のカーソルの位置合わせには、ナビゲーションキーを使用します。 [24 ページの「ナビゲーションキーと編集キー」](#) を参照してください。

テキストの挿入

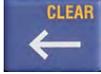
テキストの行に追加のテキストを挿入する手順：

1. ナビゲーションキーを使って、テキストを挿入する場所にカーソルを置きます。

- テキストを入力します。カーソルの右側にある既存のデータを徐々に右側に移動し、挿入されたテキストのためのスペースを作ります。
 - 固定のフォントサイズが選択されている場合は、行の最後に達したら、さらにデータを挿入することはできません。さらにデータを追加するには、[ENTER]を押して、改行するか、フォントのサイズを小さくします。(デフォルトのフォントの種類とサイズを設定するには、10 ページの「フォント設定」を参照してください。テキスト行のフォント属性やサイズを変更するには、35 ページの「フォントサイズ」または 36 ページの「フォントの属性」を参照してください)。
 - フォントサイズを [自動] に設定すると、テキスト行にさらにデータを追加するにつれて、フォントは自動的に最小サイズになるまで小さくなります。文字数制限の上限に達すると、エラーメッセージが表示されます。エラーメッセージを削除するには、[ENTER]を押してください。
 - [ENTER] を押して改行します。

テキストの削除

1 文字ずつ削除する場合：

- 削除したい文字の右側にカーソルを合わせます。33 ページの「カーソルの位置合わせ」を参照してください。
- 削除したい文字がすべて削除されるまで、 を繰り返し押してください。

ラベルのデータをすべて消去する場合：

- [FN] +  を押します。以下のオプションが表示されます (複数のエリアがある場合、最初のオプションのみが有効になります)。

オプションのクリア	定義
エリアデータの消去	エリアからデータのみが削除され、エリアフォーマットやエリア自体は削除されません。
ラベルデータのクリア	ラベルからデータを消去しますが、ラベルに追加されたすべてのエリアを保持します。ラベルのフォーマットは保持されます。ファイルに複数のラベルが含まれている場合、現在のラベルのデータのみクリアされ、他のラベルのデータは保持されます。
すべてクリア	メモリ内のすべてのラベルを削除します。すべてのデフォルト設定を再適用して、一般モードの単一のラベルに戻ります。

- ナビゲーションキーを使って目的のオプションを選択して  を押します。
- [すべてクリア] を選択した場合は、確認を求めるメッセージが表示されます。メッセージ内の [はい] に移動して  を押します。

ラベルを削除したくない場合は、を押して、[すべてクリア]をキャンセルします。
すべてのラベルがそのままの状態に戻ります。

テキストのフォーマット設定

文字や行のフォーマットは、サイズ、重み(太字)、角度(斜体)、下線およびテキストの拡大や縮小などの外観を変更する属性と呼ばれます。これらの多くは、[SETUP]メニューからデフォルトで設定できますが、個々のラベルやラインで変更することができます。

書体

書体(フォントスタイル)はセットアップメニューで決定され、個々のラベルや行で変更することはできません。10ページの「フォント設定」を参照してください。

フォントサイズ

フォントサイズは、データの行全体に一度に適用され、セットアップ機能で決定された、ポイントサイズまたはミリメートルで測定されます。

データを入力する前にサイズを変更した場合、現在のデータとその後続けて入力する行のすべてのデータが、フォントサイズが再度変更されるまで、新しいフォントサイズになります。予め入力されたデータのフォントサイズを変更すると、その行のどこにカーソルがあっても、その行全体のサイズが変更されます。ただし、予め入力されたデータのその後の行ではフォントサイズは変更されません。予め入力されたデータのそれぞれの行でフォントサイズを変更する必要があります。

選択したフォントサイズの変更手順：

1. サイズを変更したい文字の行にカーソルを合わせます。33ページの「カーソルの位置合わせ」を参照してください。
2. [FONT]を押します。
ポップアップメニューに、取り付けられたカートリッジで利用可能なフォントサイズが表示されます。
3. [サイズ]メニューをナビゲートして、希望のフォントサイズを選択します。
 - **カスタム**：サイズを手動で入力する場合は、[カスタム]を選択します。入力フィールドの下に、最小/最大範囲が表示されます。この値を超えると、エラーが表示されます。サイズを選択または入力した後、[ENTER]を押します。
 - **自動**：入力した文字が自動的にサイズ調整されるようにするには、[自動]を選択します。自動サイズ調整は、ラベルに合う最大のフォントサイズで開始します。テキストの行がラベルの端に到達すると、[ENTER]を押すか、最小フォントサイズに到達するまで、文字サイズは小さくなります。自動サイズ調整と複数のテキストの行が連動しているとき、ラベルのすべての行は同じサイズに維持されます。自動サイズ調整はすべてのラベルのデフォルト設定になり、画面の左上隅に「A」として表示されます。

ショートカット：[SHIFT]キーを押しながら上下のナビゲーションキーを押すと、フォントサイズが1ポイントずつ大きくなったり小さくなったりします。

フォントの属性

フォント属性(太字、斜体、下線、拡大・縮小)は、テキストの行全体またはテキストの行内にある個々の文字に適用することができます。テキストの入力前でも入力後でも、属性を適用できます。



新しいテキスト

テキストを入力する前に属性を適用するには：

1. 属性を適用する場所にカーソルを置きます。
2. **[FONT]** を押します。
3. 目的の属性を選択し、**[オン]**(太字、斜体、下線用)を選択します。拡大は 100% 超を、縮小は 100% 未満を選択してください。
4. 属性を適用するテキストを入力します。
5. 属性なしで入力続けたい場合は、もう一度 **[FONT]** を押して属性をオフにしてください。拡大・縮小したテキストは、パーセンテージを 100% にすると元に戻ります。

入力中にテキストに属性を適用すると、属性を解除するか新しいエリアまたはラベルに移動するまで、その属性が適用されます。

既存のテキスト

以前入力したテキストに属性を適用する手順：

1. 属性を適用したいテキストを選択します。
 - ・ **キーボードを使用する場合：****[SHIFT]** を押しながら、ナビゲーションキーを使い、属性を適用する文字全体にカーソルを移動します。

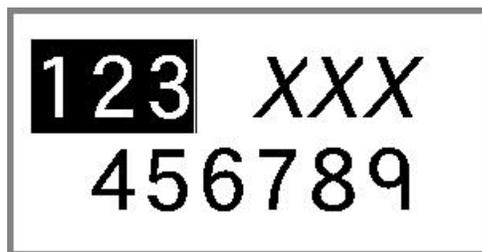
注： ハイライトは行ごとに適用されます。一度に複数行をハイライトすることはできません。

2. **[フォント]** を押します。
3. 属性を選択し、**[FONT]** (太字、斜体、下線)、またはテキストの拡大縮小率を選択します。
ハイライトされたすべてのテキストの属性が表示されます。

文字からハイライトを削除するには、いずれかのナビゲーションキーを押します。

以前テキストに適用した属性を削除する手順：

属性を適用する手順を繰り返しますが、代わりに **[オフ]** を選択します。



上付き文字と下付き文字

上付きは文字を入力行のやや上に配置し、下付きは文字を入力行のやや下に配置します。上付き / 下付き文字はまた、入力通常行よりもやや小さく表示されます。上付きおよび下付き機能は、数字キーパッド上にあります。いずれかのキーを押すと、入力された次の文字にそのフォーマットが適用されます。文字を入力した後、すぐに解除され、入力通常行に戻ります。

1 文字に上付きまたは下付きを適用するには：

1. 上付きまたは下付き文字を表示するテキストの行内にカーソルを置きます。
2. **[FN] + [SUP]** (8 キー) を押すと上付き文字が、**[FN] + [SUB]** (0 キー) を押すと下付き文字が表示されます。
3. 文字を入力すると、上付きまたは下付きで表示されます。

上付きまたは下付きキーを押した直後に入力された文字のみが上付きまたは下付きで表示されます。

複数の文字に上付きまたは下付きを適用するには：

1. 上付き文字や下付き文字にしたい文字を入力します。
2. 上付きまたは下付きで表示したい文字列の最初にカーソルを合わせます。
3. **[SHIFT]** を押しながら、ナビゲーションキーを使い、上付きまたは下付きで表示する文字全体にカーソルを移動します。これにより、文字がハイライトされます。

ラベルおよびエリア

現在のラベルの直後に新しいラベルを挿入することで、1つのラベルファイル内に複数のラベルを作成できます。

エリアを使用して、さまざまなフォーマット (ジャスティフィケーション、回転、フレームなど) を単一のラベルのさまざまな部分に適用します。エリアは、自動長さモードに設定された連続ラベルカートリッジを使用する際にのみ追加できます (下記の「[ラベルの長さ](#)」を参照)。ただし、エリアフォーマット設定は、予め定義されたエリアを持つプレサイズラベルに適用できます。

注： 複数のエリアを持つラベルのエリアの固定長を設定することはできません。エリアのサイズは、入力されたデータの量とそのデータのフォントサイズに基づきます。

ラベルの長さ

自動長さは、(プレサイズラベルではなく) 連続ラベルを使用するカートリッジのデフォルトです。長さを自動に設定すると、ラベルは入力したデータに必要な長さになります。最長 40 インチです。ただし、ラベルに固定長を設定することができます。ファイルの各ラベルに異なる長さを設定できます。

注： 長さの測定単位を変更する方法は、[8 ページ](#)の「[測定単位](#)」を参照してください。

ラベルの長さの変更手順：

1. **[LABEL]** キーを押します。
2. **[長さ]**、**[固定]** の順に選択します。プレサイズラベルカートリッジの場合、**[長さ]** は選択できません。

3. 入力フィールドに希望するラベルの長さを入力します。
4.  を押します。

注： 取り付けられているカートリッジの最小値と最大値は、入力フィールドの左右に表示されます。

ラベルまたはエリアの追加

ラベルファイルにラベルを追加する手順：

1. [LABEL] を押します。
2. [追加] を選択します。

新しいラベルは、現在のラベルの直後に挿入され、その番号が画面の右上隅に反映されます。追加された各ラベルは、同じラベルタイプになります。

既存のラベルが複数のエリアを持つ場合、追加されたラベルは同じ数のエリアを持ち、各エリアのデータの最初の行からのフォントサイズが保持されます。

1つのラベルにエリアを追加するには：

1. [FN] と [AREA] ([FN] + [SHIFT] + [LABEL]) を押します。
2. [追加] を選択します。

新しいエリアは、現在のエリアの直後に挿入され、その番号が画面の右上隅に反映されます。以前のエリアの最初の行で使用されたフォントサイズは新しいエリアに持ち越されます。

現在のエリアのみ、編集画面に表示されます。印刷プレビューを使用して、ラベル全体を表示します。エリア間を移動するには、以下の「ラベルまたはエリアに移動」を参照してください。

ラベルまたはエリアに移動

別のレベルに移動する手順：

1. [LABEL] キーを押します。
2. [移動先] を選択してから、目的のラベルの番号を入力します。
3.  を押します。

複数のエリアがあるラベルで別のエリアに移動するには：

注： エリアは、連続ラベルでのみ使用できます。

1. [FN] と [AREA] キーを押します。
2. [移動先] を選択してから、移動先のエリアの番号を入力します。
3.  を押します。

ショートカットキー

- [NEXT LABEL] を押すと、ファイル内の次のラベルに移動します。
- [FN] と [PREV LABEL] を押すと、ファイル内の前のラベルに移動します。
- [NEXT AREA] を押すと、複数のエリアのあるラベル内で次のエリアに移動します。
- [FN] と [PREV AREA] を押すと、複数のエリアのあるラベル内で前のエリアに移動します。
- [FN] キー とナビゲーションキーで操作します。24 ページの「エリア間の移動」および 24 ページの「ラベル間の移動」を参照してください。

ラベルまたはエリアの削除

1つのラベルに複数のエリアがある場合、そのラベルを削除すると、それに関連していたエリアもすべて削除されます。エリアを削除すると、現在のラベルからそのエリアが削除されます。すべてのラベルでそのエリアが削除されるわけではありません。

ラベルまたはエリアを削除する手順：

1. 削除したいラベルまたはエリアに移動します。38 ページの「ラベルまたはエリアに移動」を参照してください。
2. ラベルを削除する場合は [LABEL]、エリアを削除する場合は [FN] と [AREA] を押します。
3. [削除] を選択し、 を押します。
4. 確認用メッセージが表示されます。[はい] を選択します。

ラベルまたはエリアの複製

ラベルを複製すると、複製されるラベルの書式設定と内容がすべて保持されます。ラベル上に複数のエリアがある場合は、そのエリアは複製したラベル上にも存在します。

ラベルを複製するには：

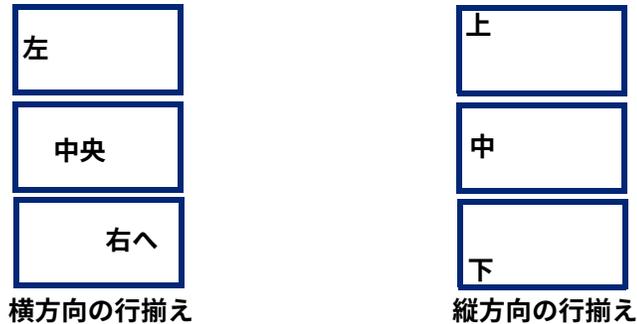
1. 複製するラベルに移動します。38 ページの「ラベルまたはエリアに移動」を参照してください。
2. [LABEL] を押します。
3. [複製] を選択し、 を押します。

ラベルおよびエリアのフォーマット設定

行端揃え

行端揃えは、ラベルの境界（マージン）間またはエリア内のデータの整列のことを指します。行端揃えには、水平方向と垂直方向の2種類があります。水平ジャスティフィケーション（水平揃え）ではラベルまたはエリアの左右の境界間でデータを、垂直ジャスティフィケーション（垂直揃え）では

ラベルまたはエリアの上下の境界間でデータを整列します。ジャスティフィケーションは、エリアまたはラベルに適用されます。行ごとに適用することはできません。



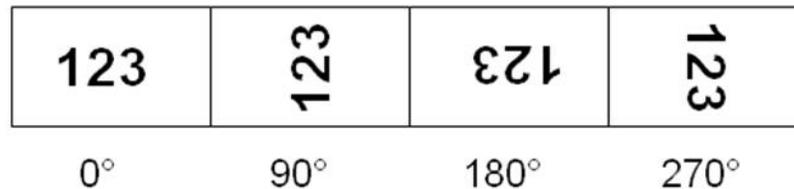
ジャスティフィケーションの適用手順：

1. ジャスティフィケーションを適用するラベルまたはエリアに移動します。38 ページの「ラベルまたはエリアに移動」を参照してください。
2. ラベルまたはエリアメニューを開きます：[LABEL] または [FN] + [AREA] を押します。
3. [水平揃え] または [垂直揃え] を選択します。
4. 希望する水平または垂直揃えを選択します。

ラベルまたはエリアのデータのすべての行は、選択されたオプションに従って揃えられます。新しいラベルを追加すると、行端揃えは、変更するまで現在の行端揃え設定を維持します。さまざまな行端揃えを、複数のラベルファイル内にある個々のラベルまたは1つのラベルのさまざまなエリアに適用できます。

回転

回転により、ラベルまたはエリアのデータが反時計周りに 90° ずつ回転します。回転は、ラベルまたはエリアのすべてのデータに影響します。



注： 回転がエリアに個々に適用される場合は、ラベル全体に回転を適用することはできません。

データは、行ごとに回転することはできません。新しいエリアまたはラベルを追加する際は、回転は以前のエリアまたはラベルと同様になります。

データを回転する手順：

1. 回転を適用するラベルまたはエリアに移動します。38 ページの「ラベルまたはエリアに移動」を参照してください。
2. ラベルまたはエリアメニューを開きます：[LABEL] または [FN] + [AREA] を押します。
3. [回転] を選択し、回転角度を選びます。
4.  を押します。

フォントサイズが [自動] に設定されている場合、回転したデータは新しいラベルの方向に合わせて自動的にサイズ調整されます。ただし、固定フォントサイズを使用すると、回転したデータはラベルに適合しない場合があります。この場合、回転したテキストが適合しないことを示すエラーメッセージが表示されます。

[] を押すと、メニューが解除されます。回転機能がキャンセルされ、データは回転しません。

回転は編集画面では表示されませんが、回転角度は画面の左上隅に表示されます。実際の回転を表示するには、30 ページの「プレビュー」を使用してください。

注： カートリッジ内のラベルに応じ、回転が自動設定されます。カートリッジを再装着すると、回転設定はカートリッジのデフォルトに戻ります。

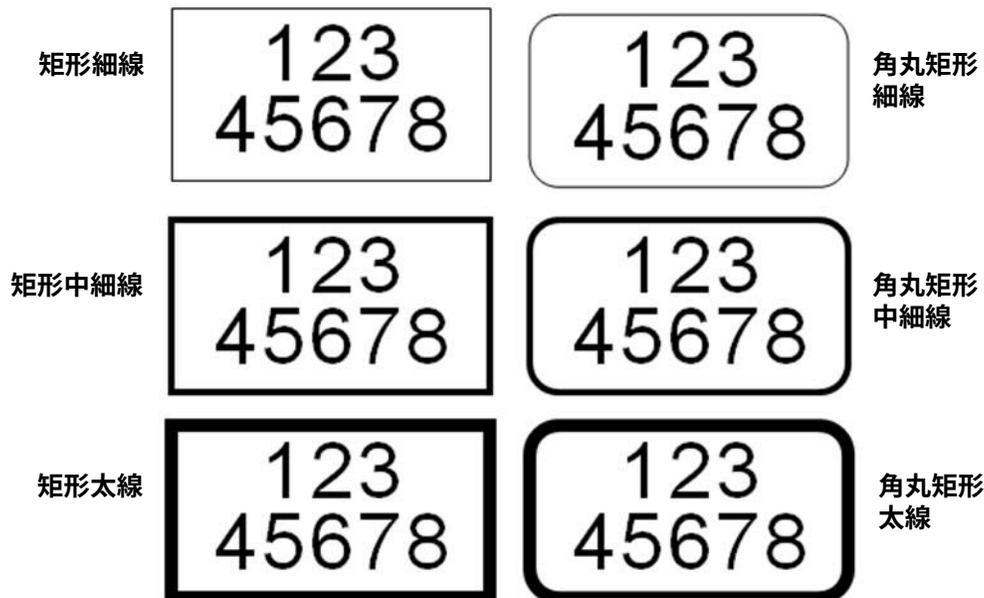
フレーム

フレーム (ボーダー) はエリアまたはラベルに追加できますが、テキストの行には追加できません。複数のラベルファイルの個々のラベルでさまざまなフレームまたはフレームなしを設定できます。また、エリアフレームを含むラベルにフレームを配置することも可能です。

注： フレームは連続ラベルにのみ使用でき、プレサイズラベルには配置できません。

フレームを追加するには：

1. フレームを配置したいラベルまたはエリアに移動します。38 ページの「ラベルまたはエリアに移動」を参照してください。
2. ラベルまたはエリアメニューを開きます：[LABEL] または [FN] + [AREA] を押します。
3. [フレーム] を選択し、フレームタイプを選んで [] を押します。



編集画面ではフレームは表示されません。印刷プレビューを使用して、ラベルまたはエリアのフレームを表示します。30 ページの「プレビュー」を参照してください。

注： フレームは端から端まで表示されず、ラベルの端からわずかにオフセットになっているように見えることもあります。

フレームを削除するには：

1. フレームを含むラベルまたはエリアに移動します。
2. ラベルまたはエリアメニューを開きます：[**LABEL**] または [**FN**] + [**AREA**] を押します。
3. [**フレーム**] > [**なし**] の順に選択し、 を押します。

反転

反転機能は、取り付けられたカートリッジ内のラベルとリボンの色に基づき、ラベルのデータの前景色と背景色を切り替えます。たとえば、白背景に黒字を反転すると、黒背景に白字になります。



反転フォーマットはエリアまたはラベルに適用できます。別のエリアまたはラベルを追加すると、機能ステータスが持ち越されます。

注： この機能は、プリンターに連続ラベルカートリッジが取り付けられている場合にのみ使用できます。反転は、バーコードや、テキストの行ごとに個別に適用することはできません。

反転フォーマットをラベルまたはエリアに適用 / 削除する手順：

1. ラベルまたはエリアメニューを開きます：[**LABEL**] または [**FN**] + [**AREA**] を押します。
2. [**反転**] に移動し、[**オン**] または [**オフ**] を選択します。

縦書き

縦書きでは、各文字が先行する文字の下にきます。

例：「WIRE」という単語は、縦書きでは、次のように表示されます。

W
I
R
E

縦書きは、エリアまたはラベルにのみ適用できます。行ごとに適用することはできません。

テキストを縦書きのフォーマットにする手順：

1. 縦書きで表示したいラベルまたはエリアに移動します。38 ページの「ラベルまたはエリアに移動」を参照してください。

- ラベルまたはエリアメニューを開きます：[**LABEL**] または [**FN**] + [**AREA**] を押します。
- [**縦書き**] に移動して [**オン**] を選択し、 を押します。テキストは縦書きで表示されます。

縦書きオプションを解除して、通常の水平フォーマットでテキストを配置する手順：

- データを縦書きとして表示しているラベルまたはエリアに移動します。
- ラベルまたはエリアメニューを開きます：[**LABEL**] または [**FN**] + [**AREA**] を押します。
- [**縦書き**] に移動して [**オフ**] を選択し、 を押します。予め定義されたフォーマットに従って、テキストが再調整されます。

縦に複数行のテキストを表示

複数のテキスト行が表示された場合、2行目以降のテキスト行は、最初のテキスト行の右に縦書きで表示されます。

注： 縦書きフォーマットを適用する前に設定した水平および垂直揃えは縦書きのテキスト行に引き継がれます。

1 2 3
4 5 6 7

複数行、縦書きが適用される前
(自動サイズ調整済み)

4
1 5
2 6
3 7

複数行、縦書きが適用される後
(自動サイズ調整済み)

縦書きテキストのエラー

テキスト行のバーコードが垂直に配置されるか、ラベルの高さが垂直に配置されたテキストを収容できない場合は、エラーメッセージが表示されます。[**ENTER**] を押して、エラーメッセージを消去します。エディターは、縦書きテキストオプションを適用せずに、元のフォーマットでテキストを表示します。

記号

M510 プリンターには、さまざまなアプリケーションで使用可能な記号が数多く含まれています。以下のような記号カテゴリを利用できます。

矢印	データ通信 (Datacomm)	電気	終了	火災	応急措置	CLP/GHS
ギリシャ語	家電	HSID	国際	ラボラトリ	必須	その他
梱包	個人用保護具 (PPE)	禁止事項	一般情報	安全	警告	WHMIS

個々の記号のリストについては、[付録 A：記号](#) を参照してください。

ラベルに記号を追加する手順：

1. 記号を表示したい場所にカーソルを置きます。
2. **[SYMBOL]** を押します。
3. 記号のカテゴリに移動します。記号グリッドが表示されます。目的のカテゴリが見つかったら、 を押します。
4. ナビゲーションキーを使用して、目的の記号を選択します。グリッドの中には長いものがあり、すべての記号を表示するにはスクロールが必要な場合もあります。
5.  または **[ENTER]** を押します。

現在使用中のサイズと同じフォントサイズで、記号がラベル上に配置されます。

ラベルから記号を削除するには：

1. 記号の右にカーソルを置きます。
2.  を押します。

グラフィック

グラフィックは、記号やロゴのほか、コンピューターなどの外部ソースから提供されたアートワークです。このようなグラフィックはビットマップ (*.bmp) でなくてはならず、モノクロでのみ利用できます。プリンターは自動的にグラフィックのサイズを調整しますが、グラフィックのサイズは印刷されるアウトプットの大きさ約 5 x 5 センチ (約 2 インチ x 2 インチ) 程度にしておくことが重要です。インポートされたグラフィックファイルのサイズは、40 KB を超えることはできません。

図をインポート

グラフィックは、インポート機能を使用してプリンターに追加します。USB ドライブを取り付けている場合、この機能は **[ファイル]** メニューに表示されます。

グラフィックをプリンターにインポートするには：

1. コンピューターから USB ドライブにグラフィックをダウンロードします。
2. グラフィックを保存した USB ドライブをプリンターに差し込みます。
3. **[FN] + [FILE]** を押します。
4. **[インポート]** > **[グラフィック]** の順に選択し、 を押します。
5. グラフィックファイルに移動して  を押します。

グラフィックファイル (.bmp) は、グラフィック機能で使用するプリンター内の特別のフォルダに保存されています。ユーザーはこのフォルダを使用できないため、グラフィックをインポートする際、保存先画面は表示されません。記号とは異なり、インポートされたグラフィックはカテゴリーに分類されていません。ただし、最も直近に使用したグラフィックがウィンドウに最初に表示されます。

ファイルのインポートに関するより包括的な情報については、[76 ページの「USB ドライブからファイルを使用する」](#)を参照してください。

グラフィックの追加

ラベルに個人的なグラフィックを追加するには：

1. グラフィックを表示したい場所にカーソルを置きます。
2. **[FN] + [GRAPHICS]** を押して、プリンターに保存されているグラフィックを表示します。
グラフィックのグリッドが現れ、最も直近に使用したグラフィックが最初に表示されます。
3. 目的のグラフィックを選択して  を押します。

注： グラフィックはフォントと同じサイズで表示されます。

日付と時刻

プリンターは、現在のシステム時計の値とセットアップ機能で定義された日付と時刻フォーマットを使用して、印刷時に現在の日付または時刻データを挿入します。（詳細については、[8 ページの「日付と時刻」](#)をご覧ください。）

現在の日付 / 時刻を各ラベルに挿入するには：

1. 日付または時刻を挿入したいラベルの位置にカーソルを合わせます。
2. **[DATE]** または **[TIME]** (テンキーにある) を押します。

日付または時刻は、編集画面で選択したフォーマットで表示されます (mm/dd/yy または HH:MM など)。実際の日付または時間を表示するには、印刷プレビューを使用します ([30 ページの「プレビュー」](#)を参照)。

インターナショナル文字

M510 プリンターには、発音区別符号など、国際的に認識されている文字が多数含まれています。

ラベルに国際的な文字を追加するには：

1. 国際的な文字を表示したい場所にカーソルを合わせます。
2. [インターナショナル] ボタンを押すと、文字のリストが表示されます。
3. ナビゲーションキーを使って、目的の文字が選択されるまでリストを操作します。
4.  を押します。現在使用中のサイズと同じフォントサイズで文字が表示されます。

注： 発音区別符号付きの文字 (Å や Æ など) を入力する場合は、ベースとなる文字を入力してから、ナビゲーションキーで文字を選択するのが近道です。

バーコード

バーコードは、以下の工業標準のコードから生成します。一般的なバーコードは、縦ライン(バー)と厚みの異なるスペースから構成されており、入力したテキストにより変化します。バーコードには、「人間が読み取り可能なテキスト」も含まれます。人間が読み取り可能なテキストは、バーコードを構成する入力データです。人間はバーとスペースを読み取ることはできないため、バーコードの表示に実際のテキストを添付します。

バーコード要素は、縦方向のサイズ変更(高さ)のみサポートします。バーコードの幅は、データとコードに基づいており、変更はできません。しかし、バーコードの比率と密度を変更することにより幅を変更できるバーコードもあります(使用されるコードによって異なります)。

バーコードのデータは、その他のデータ(テキストまたは記号)と同じ行内に表示することができます。バーコードに個別のエリアを作る必要はありません。テキストと同じ行のバーコードデータは、その行にすでにあるテキストに上書きされず、その隣に配置されます。バーコードと同じ行のテキストは、バーコードのベースラインに揃います。

バーコードの設定

バーコードを入力する前に、使用するバーコードのコードと属性を決めます。

注： Brady Workstation ソフトウェアでは追加のバーコードタイプがサポートされています。

バーコードの設定にアクセスするには：

1. [LABEL] を押します。
2. [バーコード] に移動して選択します。(ナビゲーションのヘルプは、[21 ページの「メニュー」](#)を参照してください。)
3. 希望する設定を入力します。画面を操作する方法については、[22 ページの「設定画面」](#)を参照してください。

- **コード**：ラベル上で使用したいバーコードの種類を選択します。
- **高さ (または最大の高さ)**：バーコードの高さを変えられます。ほとんどのコードでは、最小で 0.1 インチ (2.54 ミリ) 以上の高さを正確に指定することができます。データマトリックスなど、小さな四角形で構成されるコードについては、最大の高さが指定されています。
- **バーの幅**：バーコードを順に長くしたり短くしたりして、バーコード内のバーと間隔の太さを変更します。バーコードの最も細いバーの幅を、ピクセル (ドット) 単位で設定します。(QR、データマトリックスなど、一部のコードでは使用できません)
- **比率**：バーコードの比率は、細いエレメントと太いエレメントの関係性のことで (エレメントとはバーおよびスペース)。(一部のバーコードでのみ使用可能。)
- **ヒューマンリーダブル (判読可能)**：人間が読み取り可能なテキストは、バーコードを構成する入力データです。人間はバーとスペースを読み取ることはできないため、バーコードの表示に実際のテキストを添付します。ヒューマンリーダブルテキストは、バーコードの上または下に配置するか、表示しないように選択できます。(QR、データマトリックスなど、一部のコードでは使用できません)
ほとんどのコードでは、人間が判読できるテキストを表示するように選択すると、テキストサイズのフィールドが利用可能になります。(EAN や UPC など、一部のコードではフォントサイズが表示されません)人間が判読できるバーコードの文字の大きさを選択します。
- **チェックデジット**：チェックデジットは、バーコードのエラー検出のために使用されます。バーコード内の他のデジットから計算された単一デジットで構成されています。[チェックデジット] ボックスにチェックマークをいれると機能がオンになります。このフィールドは選択された記号の種類がチェックデジットをサポートする場合にのみ利用できます。(一部のバーコードでのみ使用可能。)

4. 終了後、[OK] に移動して  を押してください。

バーコードの追加

バーコードキーは、バーコードとテキスト間のトグルとして機能します。一度押すとオンになり、再度押すとオフになります。

バーコードを追加するには：

1. バーコードの設定を [46 ページの「バーコードの設定」](#) で示されているように行います。
2. バーコードを追加したい場所にカーソルを置きます。 [33 ページの「カーソルの位置合わせ」](#) を参照してください。
3.  を押します。
4. バーコードの値を入力します。バーコードの種類によって手順が異なります。
 - **リニアバーコード (最も一般的なコード)**：データの入力中に、画面にバーコードが表示されます。

- a. 値を入力します。下の画像は、バーコードがテキストの行の中に配置され、バーコードの下に人間が判読できる文字が表示されています。



人間が判読できる文字を [なし] に設定した場合、入力中はバーコードの中央に表示されますが、入力が終わると表示されなくなります。

- b. バーコードの入力が終了したら、 を押してください。ラベルには通常通りテキストやその他の要素を追加することができます。
- データマトリックスや QR などの 2 次元コード：プリンターに、バーコードの値のデータ入力フォームが表示されます。値を入力し、[OK] に移動して、 を押します。

バーコードデータの編集

バーコードデータ編集の手順：

1. バーコードテキスト内にカーソルを合わせます。バーコードモードが自動的にオンになります。
2. バーコードテキストの編集

バーコードの最後の文字を過ぎた、または 2 次元コードで [OK] を選択した場合、バーコードモードは自動的にオフになります。

シリアル化 (順次データ)

[SERIAL] キーを押すと、連続した番号または文字が自動的にラベルに追加されます。シリアル機能により、個々のラベル上の定義済みシーケンスの次の数字または文字が連続して配置されます。作成されるラベルの数字は、入力したシーケンス値により定義され、スクリーンの右上隅に表示されます。印刷プレビューを使用して、印刷の前にシーケンスを表示します。30 ページの「プレビュー」を参照してください。

シーケンスはラベル上の他のデータと組み合わせることができます。シーケンスを含むラベルに表示されたデータは、連続データに従いすべてのラベルで繰り返されます。

シリアル化を有効にする方法

シリアル化は 0～9 と A～Z の英数字です。ラベルごとに最大 2 つのシーケンスで、シンプルまたはリンクしたシリアル化が可能です。

注： シリアル化データをバーコードに組み込むことができます

シリアル化は、開始値、終了値、および増分から構成されます。シリアル化シーケンスの開始値は、数字、文字または数字と文字の組み合わせになります。終了値は、シーケンスの終了点です。

増分は、シーケンスの前の数に追加される値で、次のシーケンスを生成します。(増分を 0 にすることはできません。)たとえば、開始値が 1 で終了値が 25 で増分が 4 の場合、1、5、9、13、17、21、25 が生成されます。

シリアル化の例

シンプルな例

シンプルなシリアル化では、各ラベルについて 1 つの数字または文字を使用して、全範囲の数 (0～9) や文字 (A～Z) を続けます。

例：

開始値：1
終了値：10
増分：1
生成値：1、2、3、4、5、6、7、8、9、10

シンプルな英数字の例

単一のシリアル化では文字と数字を組み合わせることができます。開始値の右端の文字が最大値 (9, Z) の場合、次の左の文字は増分され、右の文字は最小値 (0, A) に戻ります。

例：

開始値：A1
終了値：D4
増分：1
生成値：A1～A9, B0～B9, C0～C9, D0～D4

詳細、独立したシリアル化の例

複数のシーケンスのシリアル化では、2 番目の値のセットが最初のセットに依存せず (つまり [リンク付き] ボックスにチェックなし)、それぞれのシーケンスが連続して増分します。

例： 2 つの順序がそれぞれ増える。

シーケンス番号 1	シーケンス番号 2
開始値：1	開始値：A
終了値：10	終了値：C
増分： 1	増分： 1

生成値：1A, 2B, 3C, 4A, 5B, 6C, 7A, 8B, 9C, 10A, 1B,
2C, 3A, 4B, 5C...

詳細、依存シリアル化の例

複数のシーケンスが「リンクした」シリアル化 ([リンク] ボックスにチェックあり) の場合、2 番目の値のセットは最初のセットに依存します。2 番目のシーケンスは、最初のシーケンスが終了するまで、最初の値を保持し、その後、次の値に移動します。

例：2 つのシーケンスが連動して増分する。

シーケンス番号 1	シーケンス番号 2
開始値：1	開始値：A
終了値：10	終了値：C
増分： 1	増分： 1
生成値：1A ~ 10A, 1B ~ 10B, 1C ~ 10C	

シリアル化の追加

シーケンスをラベルに追加するには：

1. シーケンスを表示するラベルにカーソルを置きます。
2. **[SERIAL]** を押します。
3. 最初の (または唯一の) シーケンスを入力します。
 - **[開始値]** フィールドに、シーケンスの開始値を入力します。開始値が終了値よりも大きい場合、シリーズは自動的に減少します。
 - **[終了値]** フィールドに、シーケンスの終了値を入力します。
 - **[増分]** フィールドに、各シーケンスを増分する量を入力します。例えば、1 から始まって 2 ずつ増やすシーケンスは、1、3、5、7、9... となります。
4. シンプルなシーケンスの場合は、**[OK]** を選択して  を押し、完了です。2 つ目のシーケンスを追加する場合は、設定を続けてください。以下の手順で、ラベル上の複雑なシーケンスを作成できます。2 つのシーケンスをラベルの異なる場所に表示させるには、[51 ページの「複数のシーケンスをラベルの異なる場所に表示する場合：」](#) を参照してください。
5. **[シーケンス 2 を追加]** ボックスを選択し、 を押します。
6. **[シーケンス番号 2]** で、**開始値**、**終了値**、**増分** を入力します。
7. [50 ページの「詳細、依存シリアル化の例」](#) で説明したように、連動して値を増加させたい場合は、**[リンク]** を選択します。

8. [OK] を選択して  を押します。ラベルにシーケンスが配置され、画面の右上隅にラベルの総数が表示されます。

注： リンクしたシリアル化は、ラベルの同じ位置に表示されている必要はありません。ラベル内の別々の場所に表示できます。次の操作を参照してください。

複数のシーケンスをラベルの異なる場所に表示する場合：

1. 最初のシーケンスを表示したいラベルにカーソルを置きます。
2. [SERIAL] を押します。
3. 最初のシーケンスの値を入力します。
 - [開始値] フィールドに、シーケンスの開始値を入力します。開始値が終了値よりも大きい場合、シリーズは自動的に減少します。
 - [終了値] フィールドに、シーケンスの終了値を入力します。
 - [増分] フィールドに、各シーケンスを増分する量を入力します。例えば、1 から始まって 2 ずつ増やすシーケンスは、1、3、5、7、9... となります。
4. [OK] を選択して  を押すと、編集画面に戻ります。
5. 編集画面で、ラベルの次のシーケンスの場所 (カーソル位置) に移動します。
6. [SERIAL] を押します。最初のシーケンスの値はすでに入力済みです。
7. [シーケンス 2 を追加] ボックスを選択します。
8. シーケンス番号 2 に、シーケンスの開始値と終了値、および増分を入力します。
9. [OK] を選択して  を押します。

シーケンスの編集

シーケンスを決定した後も、シリアル化の値を変更することができます。

シーケンス値を編集するには：

1. [SERIAL] を押します。
画面に現在のシーケンス値が表示されます。
2. 変更する値のフィールドを選択して、新しい値を入力します。
3. 準備ができれば、[OK] を選択して  を押してください。

シーケンスを削除するには：

1. エディターで、カーソルをシーケンス値のすぐ右側に合わせ、バックスペースキーを押します。
2. シリアル化データを削除するかどうかを尋ねるメッセージが表示されたら、「はい」を選択して  を押します。



リスト (データのインポート)

リスト機能を使用すると、書式化された単一のラベル (メインドキュメント) や構成されたデータソースから多様な情報を含む複数のラベルを作成できます。

データソース (またはデータベース) は、関連データを整理して集めたものです。多くの場合、フィールド (列) とレコード (行) を含む表形式で設定されます。フィールドとは各レコードの1つの情報カテゴリーのことで、レコードとはすべてのフィールド情報を1つのラベル向けに組み合わせたもののことです。

例えば、アセットタグを印刷する場合、資産番号、シリアルナンバー、部門、会社名などを記載することが考えられます。各資産のデータは行になり、列は資産番号、シリアルナンバー、部門、会社名となります。

統合を実行すると、システムはデータソースにある各レコード (行) の出力ラベルを作成します。各列のデータは、ラベル上の異なるエリアに配置されます。

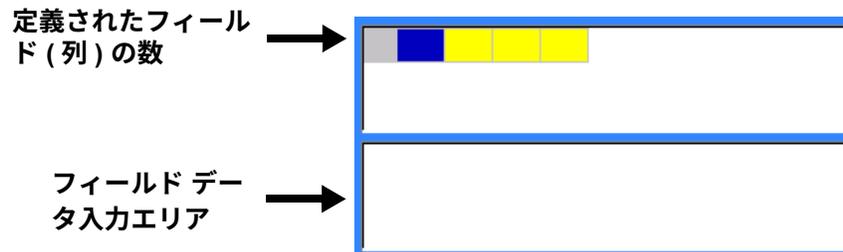
データソースの設定

データソースは、コンピューターのスプレッドシートまたはデータベースプログラムで作成された .csv ファイルで、USB ドライブを使用して M510 プリンターにインポートされます。また、プリンターで直接 .csv ファイルを作成することもできます。コンピューターで .csv ファイルを作成した場合は、リスト機能を使用する前にファイルをプリンターにインポートしなくてはなりません。USB ドライブを使用したファイルのインポートについては、76 ページの「[USB ドライブからファイルを使用する](#)」を参照してください。

プリンターで直接データソースを作成するには：

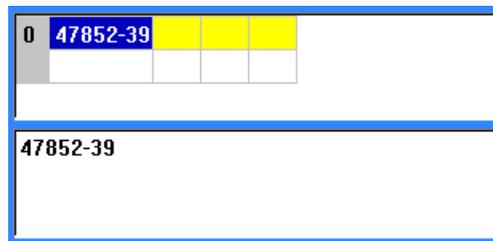
1. [FN] + [LIST] を押します。
2. [作成] を選択して  を押します。
3. データソースに含めるフィールド (列) の数を入力します。
資産タグの例では、部品番号、バーコード値、部門、会社名の4つのフィールドがあります。
4. [続行] を選択して  を押します。

定義済みのフィールドの数は、画面最上部で青と黄色の四角形で表示されます。青いフィールドは現在のフィールドです。グレーの四角形は、データをデータソースに入力する際の記録数を表示します。



- ナビゲーションキーを使用して、データを入力するフィールドを選択します。選択したフィールドが青に変わり、データが入力されている有効なフィールドであることを示します。

- 特定のフィールドのデータを入力してから、 を押します。



- 行のデータがすべて入力されたら、[次へ]を選択して  を押し、次の行に進みます。
- データを入力する各フィールドで 5 と 6 の手順を繰り返します。行間の移動、行の追加と削除については、54 ページの「データ行の使用」を参照してください。

- 終了後、[保存]を選択して  を押します。プリンターには以下のオプションがあります。
 - 内部**：ファイルをプリンターに保存します。ファイル名の指定とフォルダーの移動の詳細については、71 ページの「ファイルの保存」を参照してください。
 - 外部**：プリンターに挿入された USB ドライブに保存します。
 - キャンセル**：ファイルの保存をキャンセルし、データをそのままにデータエディターに戻ります。

- データソースを終了する場合は、バックスペースを押してください。



ドキュメントを保存せずに終了するかを尋ねるメッセージが表示されます。

- 保存したばかり、または保存せずに最初からやり直す場合は、[はい]を選択します。保存されずにファイルが閉じます。

- ファイルを保存していない場合は、[いいえ]を選択します。プリンターは保存機能に戻ります。手順9を参照

注： ファイルを保存したかどうか定かでない場合は、[いいえ]を選択します。次に、ファイルの一覧にファイル名が表示されている場合は、その名前を選択してハイライト表示し、[ENTER]を押します。ファイルがすでに存在することを知らせるメッセージが表示されます。[はい]を選択してファイルを上書きします。これにより、ファイルを確実に保存できます。編集画面に戻ります。

- データベースを終了しない場合は、[キャンセル]を選択します。

データ行の使用

データ行の間を移動するには：

- 前に進むには、[次へ]を選択して[

2つのデータ行の間に行を挿入するには：

1. 挿入される行の下に行にあるいずれかのフィールドを選択します。
2. [挿入]を選択して[

選択した行が下に移動し、新しい空の行が移動した行の上に挿入されます。

1	47852-39	6523965578	MFG.	BRADY
2	96804-52	8421798524	SHP	BRADY

← 選択された行

1	47852-39	6523965578	MFG.	BRADY
2				
3	96804-52	8421798524	SHP	BRADY

↑ 挿入された行

データデータソースの行を削除するには：

1. 削除したい行のいずれかのフィールドを選択します。
2. [削除]を選択して[M510 ユーザーマニュアル

ファイルの統合

データソースのフィールドは、ラベルで定義された特定のエリアに統合できます。

ラベルでデータソースを統合するには：

1. データソースからデータを受け取るラベルを作成するか開きます。
プレサイズラベルの場合は、エリアが事前設定されているカートリッジを選ぶ必要があります。連続ラベルの場合は、統合中にエリアを追加するようソフトウェアに指示されますが、マージを進める前にエリアを作成することを推奨します。38 ページの「ラベルまたはエリアの追加」を参照してください。
2. 編集画面にラベルを表示し、[FN] + [LIST] を押します。
3. [統合] を選択して  を押します。

注： 開いているラベルファイルが編集されている場合は、まず現在のデータをラベルファイルに保存するかどうかを尋ねられます。ファイルの保存の詳細については、71 ページの「プリンターで作成したラベルを保存する」を参照してください。ラベルファイルを保存すると、プリンターはデータファイルのメモリロケーションを尋ねる画面を表示します。次のステップから続きます。

4. データがプリンターにある場合は [内部]、USB ドライブにある場合は [外部] を選択します。  を押します。
5. データソースファイルを選択し、  を押します。ファイルやフォルダーの操作については、第 6 章：71 ページの「ファイル管理」を参照してください。
6. ラベルの定義済みエリアの数がデータソースのフィールド (列) と同じ数でない場合、ソフトウェアはエリアを追加したいかを尋ねます。
 - プリンターでデータソースのフィールド (列) と同数のエリアをラベルで定義する場合は、[追加] を選択します。統合の完了後、ラベルに戻り、追加されたエリアの書式を設定できます。
データソースファイルのデータがラベルに統合されます。各フィールドは 1 つのラベルの異なるエリアに表示されます。各レコード (データ行) は異なるラベルに表示されます。
 - エリアを追加したくない場合は [無視] を選択します。
ラベルで定義されているエリアの数に応じて、データソースのフィールドは連続的にラベルに統合されます。データソースに 4 つのフィールドがあり、ラベルで 2 つのエリアのみが定義されている場合、最初の 2 つのフィールドがラベルに統合されます。他のフィールドは無視され、ラベルには表示されません。(ラベルに統合するフィールドを選択したい場合は、後述の高度な統合機能を使用します)

高度な統合

データベースがラベル上のエリアより多くのフィールド (列) を持ち、どのフィールドがどの順番で使用されるかを制御したい場合に、高度な統合機能を使用します。

データベースの一部のフィールドのみを統合するには：

注： すべてのデータ列を使用しない場合は、あらかじめラベルに必要な数のエリアを設定しておくとういでしょう。38 ページの「ラベルまたはエリアの追加」を参照してください。

1. ラベルが開いている状態で、[FN] + [LIST] を押します。

2. [高度な統合] を選択して  を押します。

注： 開いているラベルファイルが編集されている場合は、まず現在のデータをラベルファイルに保存するかどうかを尋ねられます。ファイルの保存の詳細については、71 ページの「プリンターで作成したラベルを保存する」を参照してください。ラベルファイルを保存すると、プリンターはデータファイルのメモリロケーションを尋ねる画面を表示します。次のステップから続きます。

3. データがプリンターにある場合は [内部]、USB ドライブにある場合は [外部] を選択します。  を押します。

4. データソースファイルを選択し、  を押します。ファイルやフォルダーの操作については、第 6 章：71 ページの「ファイル管理」を参照してください。

5. この画面では、ラベル上のエリアにフィールド (列) を割り当てるためのフォームが表示されます。データファイルの各列に 1 つのエリアが表示されます。ラベルのエリアはそれより少なくても多くても構いません。各ボックスには、ラベルのエリアに配置するデータの列 (1、2、3、など) を指定します。

必要以上のデータ列がある場合は、必要な分だけエリアを使ってください。例えば、4 列のデータがあるが、2 列だけ使いたい (ラベルに 2 つのエリアがある) 場合、最初の 2 つのエリアに入力します。後の手順で、ラベルにエリアを追加しないようにプリンターに指示することもできます。

6. データファイルの中に空白 (データがない) のレコードがある場合、そのレコードには空白のラベルが印刷されます。空白のラベルを印刷しない場合は、[空白のラベルを無視] チェックボックスを選択します。

7. [OK] を選択して  を押します。

8. ラベルの定義済みエリアの数がデータソースの列数と同じでない場合、ソフトウェアがエリアを追加したいか尋ねてきます。

- プリンターでデータソースの列数と同数のエリアをラベルで定義する場合は、[追加] を選択します。統合の完了後、ラベルに戻り、追加されたエリアの書式を設定できます。

データソースファイルのデータがラベルに統合されます。各列はラベル上の異なるエリアに表示されます。各レコード (データ行) は異なるラベルに表示されます。

- エリアを追加したくない場合は [無視] を選択します。

ラベルで定義されているエリアの数に応じて、データソースのフィールドはラベルに統合されます。データソースに 4 つの列があり、ラベルで 2 つのエリアのみが定義されている場合、最初の 2 つのエリアがラベルに統合されます。他のコラムは無視され、ラベルには表示されません。

データソースの編集

すべての記録を一度にデータソースに入力する必要はありません。必要に応じて保存されたデータソースに記録を継続的に追加できます。

既存のデータソースに記録を追加するには：

1. [FN] + [LIST] を押します。
2. [編集] を選択して  を押します。
3. データがプリンターにある場合は [内部]、USB ドライブにある場合は [外部] を選択します。  を押します。
4. データソースファイルを選択します。
5. 52 ページの「データソースの設定」に示されているようにフィールドと記録の情報を入力します。

すでにデータソースに含まれているデータを編集するには：

1. 編集するフィールドを選択し、通常の編集手順に従って修正を行います。(33 ページの「テキストの編集」をご覧ください。)
2. 終了したらデータを保存します。

5 ラベルタイプ

ラベルタイプは、特定のアプリケーションのレイアウトを指示・制御するテンプレートを提供します。ラベルの種類によっては、特定のカートリッジを必要とするものがあります。以下のようなタイプのラベルを利用できます。

- 全般
- ワイヤーマーカー
- フラッグ
- ターミナルブロック、パッチパネル、66 ブロック
- 銘板
- 110 ブロック、Bix ブロック
- バイアル
- DesiStrip
- ブレーカーボックス

選択したアプリケーションに応じて、特定のラベルタイプを自動的に書式設定するための情報を収集するサブメニューやダイアログボックスが表示されます。

使用中の特定のラベルタイプの名前が画面上の、ラベルの画像のすぐ上に表示されます。

全般

全般タイプのラベルには、最も一般的なラベルで使用される標準機能と書式が含まれていますが、他のラベルタイプのようなテンプレートは提供していません。

注： 使用中の特定のラベルタイプの名前がラベル供給品インジケータの下のヘッダーバーに表示されます。

一般ラベルを作成するには：

1. [LABEL TYPE] キーを押します。
2. [一般] を選択して  を押します。

ラベルの全般カテゴリの編集ツールの使用方法については、[33 ページの「プリンターでラベルを編集する」](#)を参照してください。

ワイヤーマーカー

ワイヤーマーカーのラベルタイプは、ラベルの長さの下に入力されたテキストを繰り返すためのものです。データは、選択したフォントのサイズとワイヤーのサイズに応じて、なるべく多く繰り返されます。

プレサイズ、セルフラミネート、または連続ラベルカートリッジは、ワイヤーマーカーラベルで使用できません。

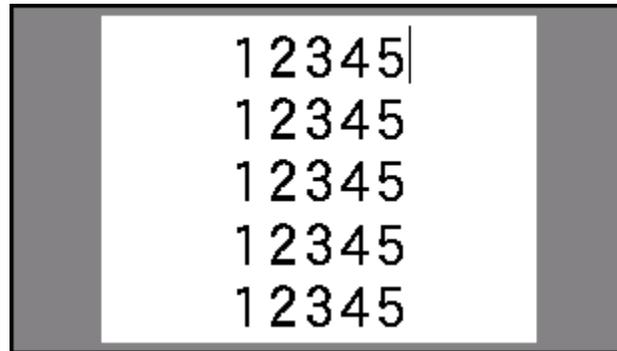
ワイヤーマーカーラベルを作成するには：

1. [LABEL TYPE] キーを押します。
2. [ワイヤーマーカー] を選択します。
3. ワイヤーマーカーのゲージと長さを選択し、 を押します。

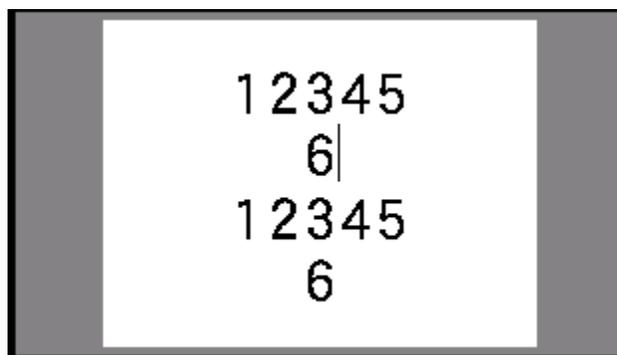
注： 連続ラベルを使用している場合でも、サブメニューで選択したゲージとサイズによってラベルのサイズが固定されます。

4. データを入力します。

ワイヤーマーカーラベルの下で、ラベルの長さで使用されているフォントサイズで可能な限りデータが繰り返されます。フォントのサイズが小さければ、より多くのデータを繰り返せます。



[ENTER] を押して新しいテキストの行を開始した場合、繰り返されたデータの各行の下にスペースが空き、テキストを入力すると、次のテキストの行が繰り返されます。



フラッグ

フラッグラベルは、両端を結合してフラッグを形成し、ワイヤーまたはケーブルを包みます。フラッグラベルのタイプは、連続ラベルまたは特定の複数エリアのプレサイズラベルと併用するためのものです。

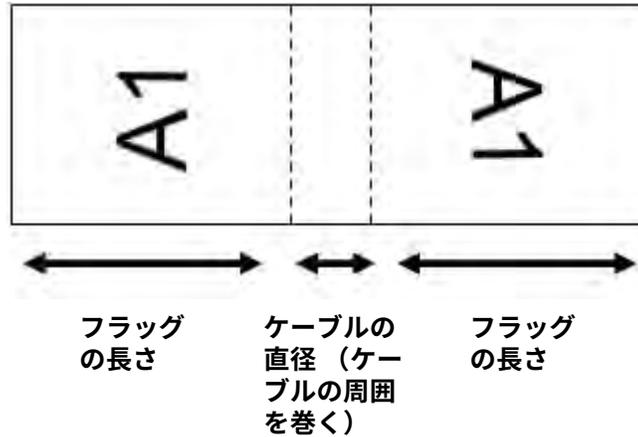
フラッグラベルを作成するには：

1. [LABEL TYPE] キーを押します。
2. [フラッグ] を選択して [←] を押します。

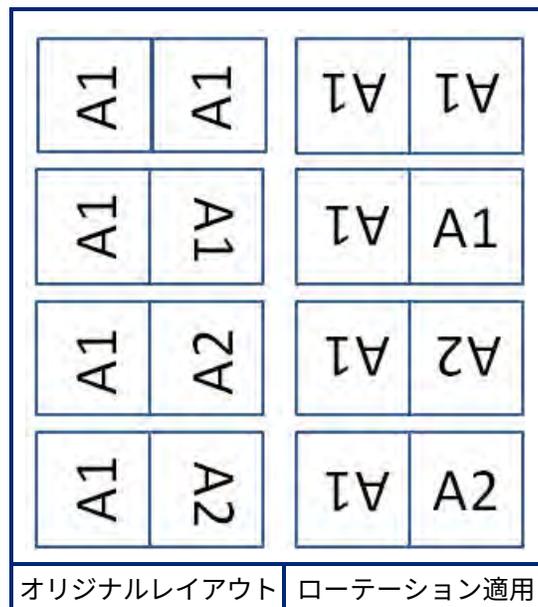
フラッグの設定画面が表示されます。

3. 希望のレイアウトを選択します。(画面のヘルプについては、[22 ページの「設定画面」](#)を参照してください)

4. カートリッジに連続ラベルが含まれている場合は、[フラッグの長さ]フィールドで、フラッグの長さ(テキストを含む部分)を入力します。



5. カートリッジに連続ラベルが含まれている場合は、[ケーブルの直径]フィールドで、フラッグが適用されるワイヤーまたはケーブルの直径を入力します。
ケーブルの直径の範囲は、0.25 ~ 8 インチです。ワイヤーまたはケーブルの直径を入力することにより、システムは自動的にラベルの追加の長さを計算して、フラッグ用の残された追加のラベル材料でワイヤーまたはケーブルを完全に包めるようにします。
6. テキストを 90° 回転させたい場合は、[回転] チェックボックスを選択します。
[回転] を選択すると、選択したテンプレート (テキスト 1、テキスト 2) のテキストレイアウトの各要素が元の位置から左または右に 90° 回転します。



7. 終了後、[OK] に移動して [←] を押してください。

8. 編集画面で、フラッグに表示するテキストを入力します。
 選択したレイアウトによっては、すべてのテキストを入力するために 2 番目のエリアに移動する必要があります。
 - 選択したレイアウトがフラッグの両側に同じテキスト要素を配置する場合、プリンタは自動的にその他のエリアに入力したテキストを複製し、予め設定したレイアウトに従って回転します。
 - 選択したレイアウトで、フラッグの両側に異なるテキストを使用する場合、最初のエリアにテキストを入力してから、2 番目のエリアに移動してテキストを入力してください。画面の右上部分には、現在どのエリアが表示されているかが示されます。[NEXT AREA] キー、[FN] + [PREV AREA] キーでエリア間の移動ができます。38 ページの「ラベルまたはエリアに移動」を参照してください。
9. [PREVIEW] を押すと、印刷前のラベルが表示されます。

ターミナルブロック、パッチパネル、66 ブロック

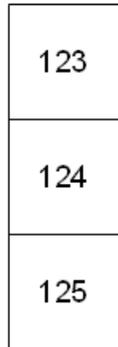
ターミナルブロック、パッチパネル、66 ブロックラベルタイプは、連続ラベルで使用するよう設計されています。連続ラベルカートリッジが取り付けられていない場合、これらのラベルタイプはメニューに表示されません。

切断する前に正しい間隔を維持したり、ラベルに追加したりするために、印刷後にフィードを無効にすることができます。

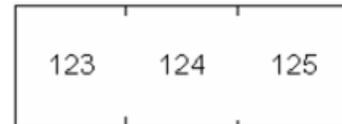
ターミナルブロック、パッチパネル、66 ブロックラベルを作成するには：

1. [LABEL TYPE] キーを押します。
2. [ターミナルブロック]、[パッチパネル]、または [66 ブロック] を選択し、 を押します。
 ターミナルブロック、パッチパネル、66 ブロックラベルの設定画面が表示されます。3 種類とも同じ設定内容です。
3. データを入力するシーケンスを設定する場合は、[シリアル化] ボックスをハイライトして  を押し、ボックスにチェックを入れます。手入力する場合は、空欄のままにします。
 シリアル化を使用する場合、ターミナル数は入力不要です。シリアル化の値により、作成するラベルの数が決定されます。
4. [ターミナル反復] フィールドに各ターミナル間のギャップのサイズが表示されます（最低 0.2 インチ=約 5 mm）。
5. [ターミナル数] フィールドに、ラベルの対象ブロックのターミナル数を入力します。[シリアル化] を選択した場合、このフィールドは使用できません。シーケンスの値により、作成するラベルの数が決定されます。

6. [フィードなし]を選択した場合、シリアル化データを印刷した後に、さらにブロックのデータを手入力することができます。(印刷が終了すると、プリンターはラベルを送らないので、さらにブロックのデータを入力することができます)。入力が終わったら、[FEED]キーを押して、ラベルをカットする位置に合わせます。
7. [セパレータ]リストから、[なし]、[線]、または[目盛り]を選択し、ラベル間の区切りにマークを付けます。



ラインセパレータ、
垂直オリエンテーション



目盛りセパレータ、
水平オリエンテーション

8. [方向]リストで、*垂直*または*水平*のいずれかを選択します。上記をご参照ください。
 9. 終了後、[OK]に移動して[←]を押してください。
 10. [シリアル化]オプションボックスにチェックを入れた場合は、シーケンス設定画面が表示されます。
 - a. シーケンスを設定します。
シーケンスの設定の詳細については、「50 ページの「シリアル化の追加」」を参照してください。シリアル化についての情報は、「48 ページの「シリアル化 (順次データ)」」を参照してください。
 - b. [OK]に移動して[←]を押します。
ターミナルブロックの数はラベルとして作成され、各ラベルにシリアル化の文字が表示されます。
 11. シリアル化を使用しなかった場合、エディターはラベル 1 で開きます。各ラベルのデータを入力します。ラベルの移動に関するヘルプについては、「38 ページの「ラベルまたはエリアに移動」」を参照してください。
- 注：** シリアル化が使用されていない場合は、ラベルを追加または削除できます。38 ページの「ラベルまたはエリアの追加」または 39 ページの「ラベルまたはエリアの削除」を参照してください。
12. [PREVIEW]を押すと、印刷前のラベルが表示されます。

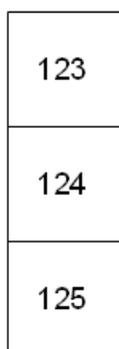
銘板

銘板ラベルタイプは、連続ラベルで使用するよう設計されています。連続ラベルカートリッジが取り付けられていない場合、このラベルタイプはメニューに表示されません。切断する前に正しい間隔を維持したり、ラベルに追加したりするために、印刷後にフィードを無効にすることができます。

銘板ラベルを作成するには：

1. [LABEL TYPE] キーを押します。
2. [銘板] を選択して [←] を押します。


銘板ラベルの設定画面が表示されます。
3. データを入力するシーケンスを設定する場合は、[シリアル化] ボックスをハイライトして [←] を押し、ボックスにチェックを入れます。手入力する場合は、空欄のままにします。
4. [中心から中心への距離] フィールドには、あるラベルの中心から次のラベルの中心までの距離を記入してください。最短距離は 0.2 インチ (5.08mm) です。
5. [ポート数] フィールドに、ラベルの対象ポート数を入力します。[シリアル化] を選択した場合、このフィールドは使用できません。シーケンスの値により、作成するラベルの数が決定されます。
6. [フィードなし] を選択すると、シリアル化データを印刷した後に、さらにポートのデータを手入力することができます。(印刷が終了すると、プリンターはラベルを送らないので、さらにポートのデータを入力することができます)。入力が終わったら、[FEED] キーを押して、ラベルをカットする位置に合わせます。
7. [セパレータ] リストで、[なし]、[線]、[目盛り] を選択して、ラベル間の区切りにマークを付けます。



ラインセパレータ、
垂直オリエンテーション



目盛りセパレータ、
水平オリエンテーション

8. [方向] リストで、*垂直*または*水平*のいずれかを選択します。上記をご参照ください。

9. 終了後、[OK]に移動して[ - 10. [シリアル化]オプションボックスにチェックを入れた場合は、シーケンス設定画面が表示されます。
 - a. シーケンスを設定します。

シーケンスの設定の詳細については、「50 ページの「シリアル化の追加」」を参照してください。シリアル化についての情報は、「48 ページの「シリアル化 (順次データ) 」」を参照してください。
 - b. [OK]に移動して[ポート数はラベルとして作成され、各ラベルにシリアル化文字が表示されます。
 - 11. シリアル化を使用しなかった場合、エディターはラベル 1 で開きます。各ラベルのデータを入力します。ラベルの移動に関するヘルプについては、「38 ページの「ラベルまたはエリアに移動」」を参照してください。
- 注：** シリアル化が使用されていない場合は、ラベルを追加または削除できます。38 ページの「ラベルまたはエリアの追加」または 39 ページの「ラベルまたはエリアの削除」を参照してください。
12. [PREVIEW] を押すと、印刷前のラベルが表示されます。

110 ブロック、Bix ブロック

110 ブロック、Bix ブロックは、幅 15.9 mm または 12.1 mm (0.625 インチまたは 0.475 インチ) の連続ラベルカートリッジを使用します。

110 ブロックラベルタイプは、ユーザーの選択したペアの設定に基づいており、ラベルの長さは選択したペアの種類により決定されます。ラベルの高さは、専用の 110 ブロックラベルの高さ 0.475 インチ (12.1 mm) を使用します。110 ブロックラベルの長さは 7.5 インチ (190.5mm) で、ストリップの全長は 7.9 インチ (200.7mm) です。エリアの番号とフォーマットは、選択したペア設定とシリアル化に基づいています。

Bix ブロックのテンプレート情報は、110 ブロックと類似しており、ストリップの高さおよび長さによりバリエーションがあります。ラベルの高さは、専用の Bix ブロック部分の高さ (0.625 インチ、15.9mm) を使用します。Bix ブロックラベルの長さは 6.2 インチ (157.5mm) で、ストリップの全長は 6.6 インチ (167.6mm) です。

110 ブロック、Bix ブロックのラベルを作成するには：

1. [LABEL TYPE] キーを押します。
2. [110 ブロック] または [Bix ブロック] を選択し、[- 3. [ブロックタイプ] リストで、ドロップダウンメニューから使用するペア設定を選択します。

110 ブロックおよび Bix ブロックアプリケーションでは、作成されるエリアの数は選択したペア設定に基づいています。垂直および水平区切りの線が自動的に追加されます。

以下の例は、選択したブロックタイプ（2 ペア、3 ペア、4 ペア、5 ペアまたは空白）に基づいたエリアを表示しています。空白ストリップは、ストリップの印刷可能な長さ全体をカバーする 2 つのエリアとして書式設定されます。

2 ペア

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	

3 ペア

	1	2	3	4	5	6	7	8	
	9	10	11	12	13	14	15	16	

4 ペア

	1	2	3	4	5	6	
	7	8	9	10	11	12	

5 ペア

	1	2	3	4	5	
	6	7	8	9	10	

空白

	エリア 1 に入力されたテキストはここに印刷されます。	
	エリア 2 に入力されたテキストはここに印刷されます。	

4. [シーケンスの種類] フィールドのドロップダウンメニューで、ラベルにシーケンスデータを追加するかどうか、またどのように追加するかを選択します。
 - [なし]が選択されていると、エリアは空白になり、ストリップの各エリアに個別にデータを入力できます。
 - 水平増分値は開始値に基づき、エリアごとに 1 つです。

- バックボーンのシリアル化では、各ストリップの左端のエリアが2つの数字とともに印刷されます。最初の数字は左揃えで、2番目の数字は右揃えになります。その他のすべてのエリアは、1つの右揃えの数字とともに印刷されます。

2ペア：なし

2ペア：水平

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	

2ペア：バックボーン

	1	2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	24
	25	26	28	30	32	34	36	38	40	42	44	46	48

- [開始値] フィールド（シーケンスの種類フィールドに [なし] が選択されているとき以外）に、シーケンスの最初の番号を入力します。
 - [ストリップ数] フィールドに、選択したブロック設定で作成するストリップ（ラベル）の数を入力します。
- 注：** データをシリアル化する場合、追加のストリップにより、前のストリップの最後の番号からシリアル化が継続されます。例：2ペア水平設定の内の2つのストリップを要求すると、1番目のストリップには値1～24が含まれ、2番目のストリップには値25～48が含まれることになります。
- 終了後、[OK] に移動して [←] を押してください。

バイアル

バイアルラベルタイプは、セルフラミネートまたは PermaSleeve 以外のラベルで使用できます。これら2種類のカートリッジのいずれかが取り付けられている場合、バイアルラベルタイプは表示されません。バイアルラベルタイプは、選択されたバイアルのサイズに基づいてラベルの長さを固定し、データを水平または垂直に書式設定します。

バイアルラベルを作成するには：

- [LABEL TYPE] キーを押します。
- [バイアル] を選択してからバイアルのサイズを選択し、[←] を押します。

[自動]を選択しない限り、バイアルサイズがラベルのサイズを決定します。その場合、ラベルサイズはコンテンツに合わせて自動で調整されます。

- バイアルラベルに表示するデータを入力します。
ラベルの向きを変えるには、方向設定を使用します。40 ページの「回転」を参照してください。

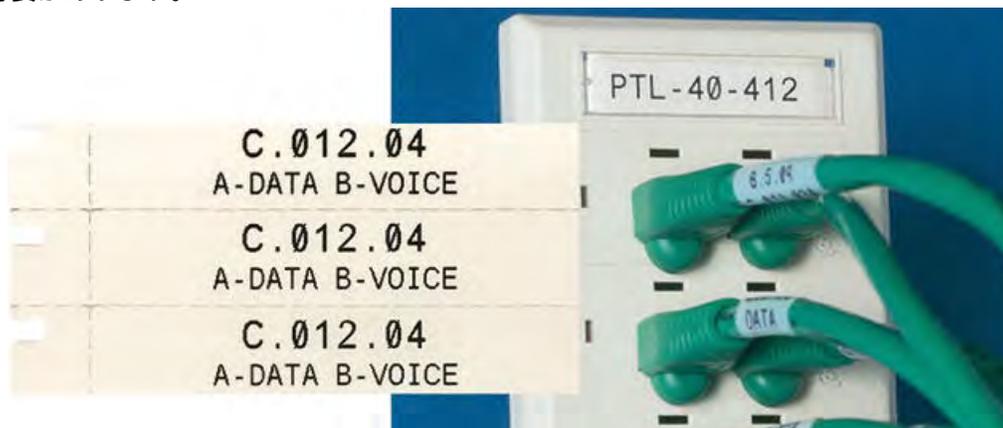


横方向（印刷されるラベルで水平表示） 縦方向（印刷されるラベルで垂直表示）

- 注：複製したラベルを作成するには、39 ページの「ラベルまたはエリアの複製」を参照してください。

DesiStrip

DesiStrip（指定ストリップ）は紙製のフェースプレートラベルで、電話のキーやブレーカーボックスのスイッチなどの上に使用できます。このラベルタイプには、連続ラベルカートリッジを使用する必要があります。



DesiStrip ラベルを作成するには：

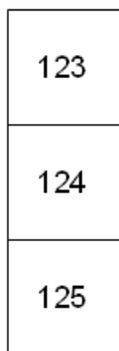
- [LABEL TYPE] キーを押します。
- [DesiStrip]（デジグネーションストリップ）を選択します。
- 各ストリップの長さを入力します。
- [OK] に移動して [←] を押します。
- ラベル上のデータを入力します。

ブレーカーボックス

ブレーカーは通常、地域によって2列または1行に整列されます。ラベルの方向に応じて、ブレーカーの位置には左から右、または上から下に向けて番号が付けられます。この番号システムは、ブレーカーパネルのあらゆる競合メーカーで一般的に使用されています。

ブレーカーボックスのラベルを作成するには：

1. [LABEL TYPE] キーを押します。
2. [ブレーカーボックス] を選択します。
3. [スペーシング] フィールドに、標準ブレーカーの幅を入力します。
4. [ブレーカー数] フィールドにラベルを付けるブレーカーの数を入力します。
この場合、スペーシング幅で区切られた1つの連続したストリップが生成されます。
5. ブレーカーに異なるポール数が含まれている場合は、[可変ポール数] を選択して  を押し、オプションボックスにチェックを入れます。
プリンターは、正確な間隔になるようブレーカー間の距離を計算するためにポール数を使用します。単一ポールのブレーカーは電気パネルで1つのスペースしか必要ありませんが、ポール2本の場合は2つのスペースが要ります。
6. [セパレーター] リストで、[なし]、[線]、[目盛り]、[すべてのボーダー] を選択して、ラベル間の区切りをマークします。
7. [方向] リストで、*垂直*または*水平*のいずれかを選択します。



ラインセパレータ、
垂直オリエンテーション



目盛りセパレータ、
水平オリエンテーション

8. 終了後、[OK] に移動して  を押してください。
[可変ポール数] を選択すると、[ブレーカーボックスのポール数] 画面が表示されます。各ブレーカーのポール数はデフォルトで1になっています。
9. 各ブレーカーについて、ポール数を記入する。

10. 終了後、[OK]に移動して[- 11. 編集画面で、各ブレーカーのラベルで表示する一意のデータを入力します。
各ブレーカーには単一のラベルが割り当てられ、ラベル数は定義済みのブレーカー数で指定されます。ラベルの枚数は画面右上部分に表示されます。[NEXT LABEL] および [FM] + [PREV LABEL] キーを使用して、別のラベルに移動します。
- 12. [PREVIEW] を押すと、印刷前のラベルが表示されます。

6 ファイル管理

単一のラベルまたは多数のラベルはファイルとして保存でき、後日開いたり、再使用したりできます。

注： 異なるカートリッジを使用しているラベルは、同じラベルファイル内では結合できません。ラベルファイルのすべてのラベルは、同じカートリッジ部分番号を使用する必要があります。

プリンターで作成したラベルを保存する

ラベルや内部または外部ファイルとして保存できます。

- 内部ファイルのラベルは、プリンターに直接保存されます。
- 外部ファイルのラベルは、USB ドライブのような外部デバイスに保存できます。

ファイルのネーミング基準

M510 プリンターでファイルを作成するには、そのファイルに名前を付ける必要があります。名前は、最大 20 文字の長さが可能で、文字、数字、およびスペースを含めることができます。

重要！ ファイルを作成するとき、以下のルールを忘れないでください。2つのファイルに同じ名前を付けることはできません。同じ名前を付けると、最近のファイルで同じ名前を持つ以前のファイルが上書きされます。名前が 1 文字違うと、別のファイルが作成され、以前のファイルが上書きされません。

フォルダ

データをよりよく整理するために、類似したラベルのファイルをフォルダに入れます。類似したファイルには、特定のプロジェクトのラベルすべて、同じカートリッジを使用するファイルすべて、または特定のラベルアプリケーションが含まれます。フォルダの作成または選択方法については、以下のファイル保存に関する説明の中で言及されています。

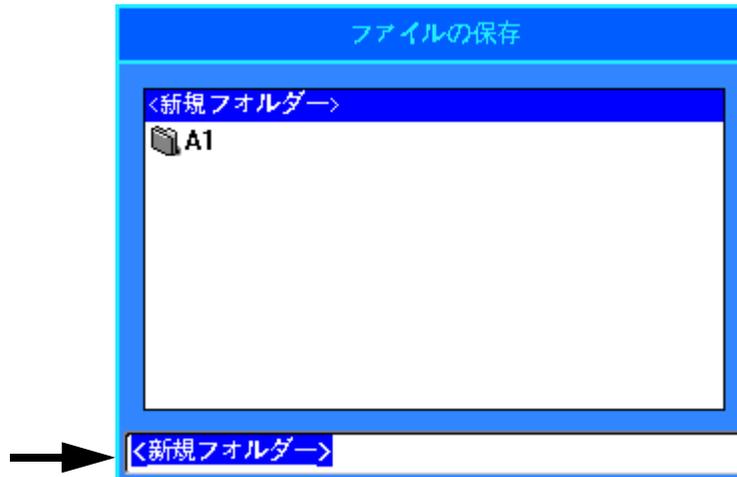
ファイルの保存

ラベルをファイルとして保存する手順：

1. [FN] + [FILE] を押します。
2. [保存] を選択して  を押します。

メモリーの場所に関するダイアログボックスは、外部ソースがプリンターに取り付けられている場合にのみ表示されます。

3. USB ドライブを装着している場合は、保存先を聞かれます。[内部] を選択してプリンターに直接保存するか、[外部] を使用して接続されている外部ソースに保存します。
4. [ファイルを保存] 画面が表示されます。この時点で、ファイルを入れるための新規フォルダを作成するか、既存のフォルダを選択するか、またはフォルダに入れずにファイルを保存することができます。

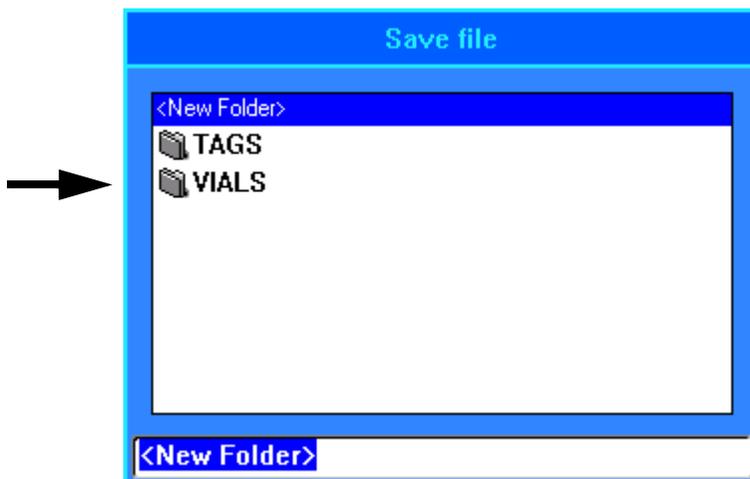


- **フォルダに入れずにファイルを保存するには：**テキスト入力ボックスで、<新規フォルダ>の文字がハイライトされた状態で、ファイル名を入力し、 を押してください。ステップ5に進みます。
- **新規フォルダを作成するには：**
 - a. テキスト入力ボックスで、<新規フォルダ>の文字がハイライトされた状態で、 を押します。
 - b. フォルダの名前を入力し、[OK] に移動して [] を押します。

- c. 画面上部のペインで [前のフォルダ] を選択した状態で、[] を押します。



- d. 先ほど作成したフォルダに移動して [] を押します。



- e. ファイルの名前を入力し、[] を押します。ステップ 5 に進みます。
- 既存のフォルダを選択するには：
 - a. 目的のフォルダに移動して [] を押します。
 - b. ファイルの名前を入力し、[] を押します。

5. その名前がすでに存在している場合は、その名前以前のファイルを上書きしてもよいかを確認するメッセージが表示されます。
 - 既存のファイルを上書きする場合は、[はい]を選択します。
 - 戻って別のファイル名を入力する場合は、[いいえ]を選択します。

ファイルを保存すると、保存したファイルが表示されたまま、編集画面に戻ります。保存したファイルを画面から削除するには [FN] + [CLEAR] を押します。これは、エディターのデータをクリアして、別のラベルで作業できるようにするもので、保存されたファイルを削除するものではありません。[CLEAR] キーの操作についての詳細は、34 ページの「テキストの削除」を参照してください。

Brady Workstation ソフトウェアで作成したファイルを保存する

(※Brady Workstation は別売りです。)

Brady Workstation からのファイルをプリンターに保存すると、後で、Brady Workstation コンピューターから切断した状態でも印刷することができます。Brady Workstation からのファイルは、印刷に必要なすべての情報を含む印刷ジョブとして保存されます。印刷ジョブはプリンター上で編集できず、印刷のみ可能です。そのため、この方法で印刷ジョブを保存すると、編集を防ぐ役割も果たします。

以下の手順で印刷ジョブをプリンターに保存し、その後、75 ページの「ファイルを開く」を参照してください。

Brady Workstation からの印刷ジョブをプリンターに保存するには：

1. USB ケーブルを使用してプリンターがコンピューターに接続されていることを確認します。
2. Brady Workstation ソフトウェアで、ラベルファイルを開き、印刷画面へ進みます。
3. まだ選択していない場合、M510 プリンターを選択します。
4. 必要に応じて印刷設定を行います。コピー枚数や並び順、切断オプションなどの詳細設定も可能です。これらの設定は、プリンターに保存される際に、ファイルとともに保存されます。

重要！ [詳細設定] 画面を表示した場合は、[プリンターに印刷] が選択されていることを確認してください。これにより、プリンターが読み取ることのできる印刷ジョブにすることができます。[ファイルに印刷] を選択すると、プリンターで読み取ることができません。

5. [PRINT] ボタンの矢印をクリックし、[プリンターに保存] を選択します。ボタン名が [STORE] に変わります。
6. [STORE] クリックし、プリントジョブの名前を入力します。
7. プリントジョブがプリンターの内部メモリーに保存されます。ジョブの保存時に指定したラベルコンテンツ、ジョブ名、数量、並び順、切断の設定は編集できません。内部メモリーに保存されたファイルは、印刷と削除のみ可能です。

ファイルを開く

保存されたファイルを開くには：

1. [FN] + [FILE] を押します。
 2. [開く] を選択して  を押します。
 3. ファイルの場所 ([内部] または [外部]) を選択して  を押します。
- 以前保存したフォルダとファイルのリストが表示されます。
4. ファイルがフォルダに保存されている場合は、そのフォルダを選択して  を押し、ファイルを開きます。
 5. ナビゲーションキーを使って、開くファイルをハイライト表示し、 を押します。

鉛筆やプリンターのアイコンで示された 2 種類のファイルが表示されることがあります。

-  : これらのファイルは、名前が .lbl で終わるもので、M510 プリンターで作成されたものです。エディターで開き、修正と印刷が可能です。
-  : .pmn で終わる名前のこれらのファイルは Brady Workstation で作成されたもので、印刷のみ可能です。 .pmn ファイルを選択すると、プリンターは印刷するかどうかを尋ねます。 [はい] を選択します。

一度に 1 つのファイル (lbl) のみ画面に表示できます。保存されたファイルを開くとき、編集画面に他のデータが含まれている場合は、画面を消去する前に、データを保存するよう指示されます。表示されたデータを保存することにした場合は、保存機能が呼び出され、開くよう依頼したファイルがエディターに表示される前に、そのデータにファイル名を付けることができます。

ファイルを開く際に保存データが取り付けられたカートリッジのラベルに適合しない場合は、エラーメッセージが表示されます。ファイル保存時に正確なカートリッジ部品番号を使用不要な場合でも、開いているファイルにデータを収容できるラベルカートリッジを使用する必要があります。

ファイルを削除する

ファイルを削除する前に、エディターを消去する必要はありません。ファイルはまだ画面にある他のデータといっしょに削除できます。

以前保存したファイルを削除する手順：

1. [FN] + [FILE] を押します。
2. [削除] を選択します。
3. 削除したいファイルの種類を以下から選択します：ラベル、リスト、グラフィック。

4. ファイルの場所 (内部か外部か) を選択します。
以前保存したフォルダとファイルのリストが表示されます。
 5. ファイルがフォルダに保存されている場合は、そのフォルダを選択して  を押し、
ファイルを開きます。
 6. ナビゲーションキーを使って、削除するファイルをハイライト表示し、  を押します。
削除確認メッセージが表示されます。
 7. [はい] を選択して  を押し、削除を承認します。ファイルはシステムから削除され、
使用できなくなります。
- 注： フォルダはファイルと同じ方法で削除しますが、削除するにはフォルダが空でなければなりません。

USB ドライブからファイルを使用する

コンピューターまたは別の M510 プリンターで作成され、USB ドライブに保存されているラベル、.csv リスト、または .bmp グラフィックを使用できます。ラベルを USB ドライブからプリンターにインポートしたり、USB ドライブから直接ラベルファイルを開いたりできます。ただし、リストとグラフィックスは使用前にプリンターにインポートする必要があります。(リストの使用の詳細については、52 ページの「リスト (データのインポート)」を参照してください。)グラフィックの使用の詳細については、44 ページの「グラフィック」を参照してください。

注： ソフトウェアファイルはプリンターにインポートできません。

ファイルのインポート

外部デバイスで作成、保存されたファイルをインポートするには：

1. プリンターに外部デバイスを取り付けます。
2. [FN] + [FILE] を押します。
3. [インポート] を選択します。[インポート] は外部デバイスを取り付けた場合にのみ表示されます。
4. インポートするファイルの種類を以下から選択します：ラベル、リスト、グラフィック。
5. フォルダおよびファイルのナビゲーションテクニックを使用して、外部デバイスからインポートしたいファイルを選択します。  を押します。リストとグラフィックの場合は、インポートが完了します。

- ラベルファイルをインポートする場合は、[保存先を選択]画面で、インポートされたファイルを保存したいプリンター上のフォルダを選択します。 を押します。

ラベルファイルはプリンターのどのフォルダにでも保存できます。ただし、リストファイル (.csv) とグラフィックファイル (.bmp) はリストおよびグラフィック機能で使用する特定のフォルダに保存します。ユーザーはこれらのフォルダを利用できません。リストまたはグラフィックをインポートする際、保存先画面は表示されません。

インポートされたファイルは、インポートされた際の元のファイル名を維持します。複数回インポートされると、ファイル名に「- Copy [#]」が追加されます (「#」はファイルがインポートされた回数)。これによりファイルが同じ名前の別のファイルを上書きされるのを防ぎます。

[ファイル/開く]機能により、インポートされたラベルファイルを開けます (75 ページの「[ファイルを開く](#)」参照)。

リスト (.csv) ファイルは、リスト機能の [統合] を使用すると開けます。

グラフィック (.bmp) ファイルは、グラフィック機能で表示してアクセスできます。

ファイルのエクスポート

プリンターで作成したファイル、または以前に外部デバイスからインポートされたファイルは、外部デバイスにエクスポートできます。

現在、プリンターにあるファイルを外部デバイスにエクスポートするには：

- はじめに、プリンターに外部デバイスを取り付めます。
- [FN] + [FILE] を押します。
- [エクスポート] を選択します。
- エクスポートするファイルの種類を以下から選択します：ラベル、リスト、グラフィック。
- フォルダおよびファイルのナビゲーションテクニックを使用して、外部デバイスにエクスポートしたいファイルを選択し、 を押します。
- [保存先を選択]画面で、エクスポートされたファイルを保存先したい外部デバイスのフォルダに移動します。
- 画面下部の、自動的に <新規フォルダ> と入力されているフィールドにエクスポートするファイルの名前を入力し、 を押します。

7 メンテナンス

ファームウェアのアップグレード

ファームウェアのアップグレードは、オンラインまたは Brady Workstation デスクトップ ソフトウェアで可能です。



注意 ファームウェアのアップグレード中は、プリンタをコンセントに差し込む必要があります。アップグレード中は、プリンターの電源を切らないでください。

Brady Workstation を使用したアップグレード

1. USB コードを使用して、Brady Workstation がインストールされているコンピューターに、プリンターを接続します。コンピューターがインターネットに接続されている必要があります。
2. Brady Workstation ソフトウェアを起動し、Printers ツールを開きます。アップグレードが利用できるようになると、それが示されます。
3. 詳しくは、Printers ツールのヘルプをご覧ください。

USB ドライブを使用したアップグレード

1. お使いのコンピューターで、該当する地域のテクニカル サポート ページに移動します。
[iv ページの「テクニカル サポートおよび登録」](#)を参照してください。
2. ファームウェアの更新を検索します。
3. 最新の M510 ファームウェアアップグレードを見つけます。
4. ファームウェアをダウンロードします。
5. ダウンロードしたファイルを USB ドライブに保存します。
6. プリンターの USB ポートに USB ドライブを接続します。
プリンターがアップグレードファイルを認識し、画面にメッセージが表示されます。
7. 画面の手順に従います。
アップグレードが完了すると、プリンターが再起動します。

プリンターのクリーニングを行う

プリンターをクリーニングすることで、印刷の品質と読みやすさが向上します。出力、プリンタの本体寿命、プリンタの信頼性、性能も向上します。

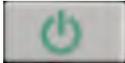
画面のクリーニング

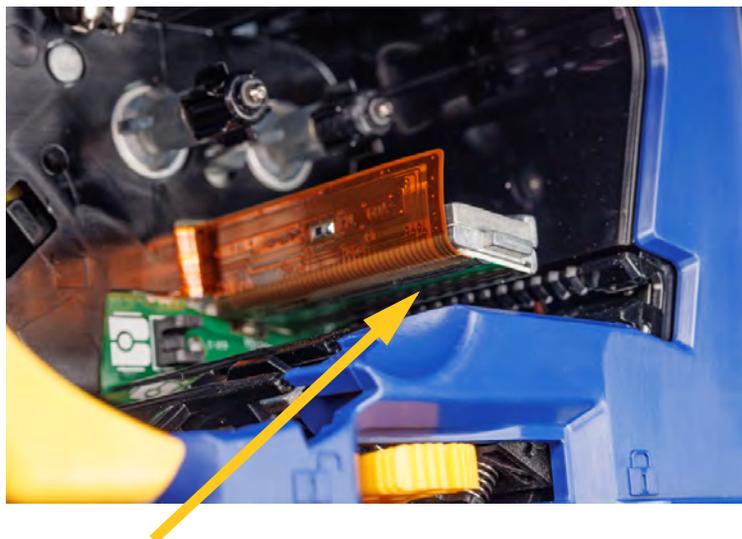
画面をクリーニングするには：

1. 柔らかい布にイソプロピルアルコールで少し湿らせるか、Brady クリーニングキット PCK-6 の予め湿らせた綿棒を使用してください。
2. きれいになるまで優しくディスプレイ画面をふきます。
3. 余分なイソプロピルアルコールは、乾いた柔らかい（傷をつけない）布で取り除いてください。

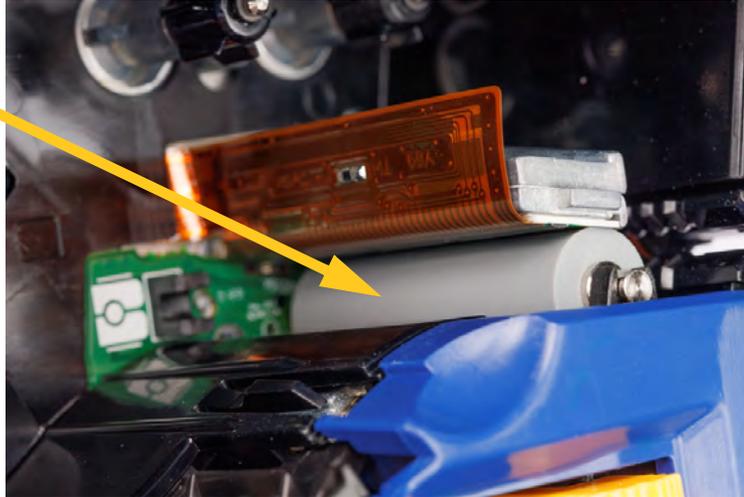
プリントヘッドとプラテンローラーのクリーニング

プリントヘッドとプラテンローラーをクリーニングするには：

1. 電源ボタンを押し、プリンターをオフにします。 
2. カートリッジを取り外します。13 ページの「カートリッジの装填」を参照してください。
注： ロックレバーがロック解除の位置（左側）になっていることを確認します。そうでない場合は、プリントヘッドにアクセスすることができません。
3. リントフリー綿棒をイソプロピルアルコールで少し湿らせるか、あらかじめ湿らせたクリーニング綿棒（PCK-6）を使用します。Brady の部品番号 PCK-6 プレ湿らせ綿棒は糸くずがなく、イソプロピルアルコールには添加物が含まれていないため、使用することをお勧めします。
4. プリントヘッドをゆっくりと綿棒で拭きます。



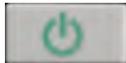
5. プラテンローラーにアクセスするには、ロックレバーをロック位置まで右にスライドします。清潔な湿らせた綿棒で、プラテンローラーをやさしくブラッシングします。

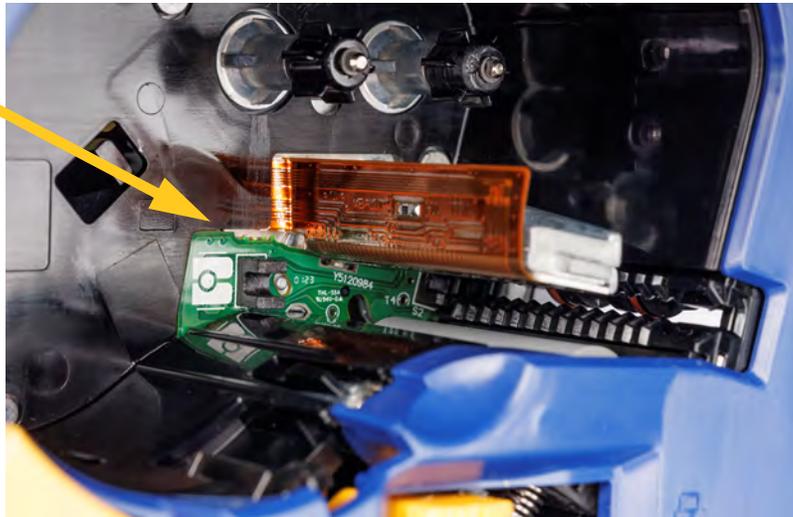


センサーのクリーニング

センサーにゴミが付着すると、プレサイズラベルで印刷がずれることがあります。

ポジションセンサーをクリーニングするには：

1. プリンター上部の電源ボタンを押し、電源を切ります。 
2. カートリッジを取り外します。13ページの「カートリッジの装填」を参照してください。
3. 圧縮空気または糸くずの出ない綿棒でセンサーのゴミを掃除してください。



8 トラブルシューティング

以下の表を使用して、プリンターのパフォーマンスの問題を検査及び診断してください。提案された解決策でも解決できない場合は、Knowledge Base にアクセスするか、Brady のテクニカルサポートにお問い合わせください。iv ページの「テクニカル サポートおよび登録」を参照してください。

エラーメッセージ

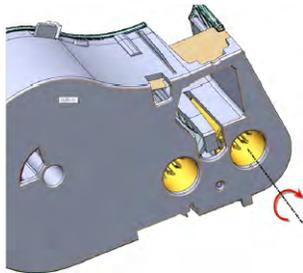
メッセージ	原因	解決策
バーコードが装着されたラベルの高さを超えています	バーコードはラベルに対して大きすぎます。	バーコードの高さを変更してください。46 ページの「バーコードの設定」を参照してください。
バーコードが装着されたラベルの幅を超えています	バーコードはラベルに対して大きすぎます。	[ラベル]>[回転]メニューで回転をリセット、40 ページの「回転」を参照、またはより幅広のラベルを装着したカートリッジを取り付けます。
インストールされたラベルにはデータが収まりません	ラベルのサイズがラベルのデータに見合ってません。	エラーメッセージで推奨されているカートリッジを取り付けます。13 ページの「カートリッジの装填」を参照してください。
装着されたラベルとファイルの互換性がありません	ラベルファイルは、取り付けられているカートリッジとは異なるカートリッジ用に作成されています。 履歴からファイルを印刷する場合は、対応するカートリッジを伝えるエラーメッセージが表示されます。 ファイルリストから印刷する場合、カートリッジ部品番号は不明となります。	ファイルが作成されたカートリッジ、または類似のカートリッジを取り付けます。13 ページの「カートリッジの装填」を参照してください。 プリンターに表示されるメッセージにカートリッジが指定されていない場合は、連続ラベルカートリッジとプレサイズラベルカートリッジ(またはその逆)を交換してみてください。

メッセージ	原因	解決策
選択されたラベルタイプに互換性のないラベルがあります	選択されたラベルタイプは、取り付けられているカートリッジに対応していません。	ラベルタイプに対応したカートリッジを取り付けます。現在のラベルタイプは、画面上のラベルの上に表示されます。 第5章：58ページの「ラベルタイプ」 を参照してください。
無効なバーコード文字です	入力された文字は、バーコードの種類に対して有効なデータではありません。	バックスペースキー  を押し、別の文字を入力してください。
正常に終了せず値の入力が繰り返されます	入力した値が範囲外です。	許容範囲は、0.2 インチ ~ 40 インチです。
ラベルフィードエラー	カートリッジは取り付けられていますが、ラベルがプリンターを通過しません。 ラベル先端が、不揃いまたは破れている場合があります。	<ul style="list-style-type: none"> • カートリッジを取り付け直してください。13ページの「カートリッジの装填」を参照してください。 • プリンターからカートリッジを取り外し、ハサミでラベルの先端をまっすぐ切ってください。 • それでも問題が解決しない場合は、79ページの「プリンターのクリーニングを行う」に示されたクリーニングの手順に従ってください。
ラベルが検出されていません	ラベル残量がゼロ、またはスマートセルを読み取れません。	<ul style="list-style-type: none"> • Authentic ロゴがカートリッジにあることを確認します。  • カートリッジを再装着または交換します。13ページの「カートリッジの装填」を参照してください。 • ロックレバーが固定されていることを確認します。
ラベル切れ	印刷中にラベルが切れました。	新しいカートリッジを挿入してください。 13ページの「カートリッジの装填」 を参照してください。
リボンまたはカートリッジのロックが解除されています	ロックレバーを LOCKED の位置に切り換えてください。	ロックレバーを右へにスライドさせると、カートリッジがロックされます。ロックレバーが完全に噛み合っていることを確認します。

ハードウェアの問題

問題	原因	解決策
キーボードが時折動作しない、またはまったく動作しない。	1つまたは複数のキーが押されたままの状態になっています。	どのキーが押されたままになっているか確認してください。キーをもう一度押して、元に戻してください。
カッターによる切断ができない。	ラベル素材がカッターの刃に挟まっています。	ロックレバーを外します。カートリッジを取り外し、経路から紙片を取り除きます。

印刷の質

問題	原因	解決策
印刷の質が悪い	バッテリーパックが摩耗していて、適切に充電ができていない可能性があります。	使用や取り扱い方によって異なりますが、バッテリーの寿命は約1年から3年です。バッテリーパックを新しく購入して交換してください。
	プリントヘッドにほこりや接着剤が蓄積しています。	プリントヘッドをクリーニングしてください。(79ページの「プリントヘッドとプラテンローラーのクリーニング」をご覧ください。)
ラベルに印刷されない	カートリッジが正しくセットされていない、またはリボンが破損しています。	カートリッジを再装着するか、新しいカートリッジを取り付けてください。13ページの「カートリッジの装填」。
印刷されたテキストに抜け落ちた部分や、余計な線がある。	リボンが緩んでいます。 	プリンターからカートリッジを取り出し、巻き取りスプールを時計回りに回転させながら、しわのあるリボンが見えなくなるまでリボンを進めてください。カートリッジを再装着し、ラベルを再印刷してください。

問題	原因	解決策
ラベルの印刷がかすれている。	リボンが適切に動いていません。	リボンを取り外し、巻き取りスプールの端を時計方向に回転させます。上記をご参照ください。 問題が解決しない場合は、新しいカートリッジを取り付けてください。
最初に印刷されるラベルに黒い線が入ります。	プリンターを使用しないときにカートリッジをロックしたままにしておくと、プリントヘッドがプラテンローラーに押しつけられたままになります。プリントヘッドの余熱で、ラベルにインクが転写されることがあります。	ラベルを再印刷し、プリンターを使用しないときは、カートリッジのロックを解除してください。

電源オン/オフ (プリンターが動作しない)

問題	原因	解決策
電源ボタンを押してもプリンターの電源が入りません。	バッテリーパックが充電されません。	<ul style="list-style-type: none"> AC アダプターをプリンターに差し込み、コンセントにつないでください。バッテリーの充電と共にすぐに電力が供給されます。 バッテリーパックを充電しても電源が入らない場合は、電源ボタンを 15 秒以上長押しして、プリンターを再起動してください。
画面がフリーズする	ユーザー インターフェイスのエラー。	<p>プリンターを再起動します：</p> <ol style="list-style-type: none"> プリンターの電源ボタンを押し、プリンターをオフにします。 プリンターの電源ボタンが、プリンターをシャットダウンしない場合： AC アダプターを取り外します (使用している場合)。 バッテリーパックをいったん取り外して、すぐに元に戻します。 プリンターの電源ボタンをオンにします。 <p>それでも問題が解決しない場合は、ファームウェアをアップグレードしてください。78 ページの「ファームウェアのアップグレード」を参照してください。</p>
プリンターの電源が頻繁にオフになります。	バッテリー残量が少なくなっています。	AC アダプターをプリンターに差し込み、コンセントにつないでください。バッテリーの充電と共にすぐに電力が供給されます。
	自動シャットオフのタイミング。	[セットアップ] の [構成] メニューでシャットオフ遅延時間を調整します。(9 ページの「プリンター構成設定」をご覧ください。)
プリンターの応答がない	バッテリーの容量がなくなっています。	<ul style="list-style-type: none"> AC アダプターをプリンターに取り付けて、電力をプリンターに供給して、バッテリーを充電してください。 新しいバッテリーを挿入してください。

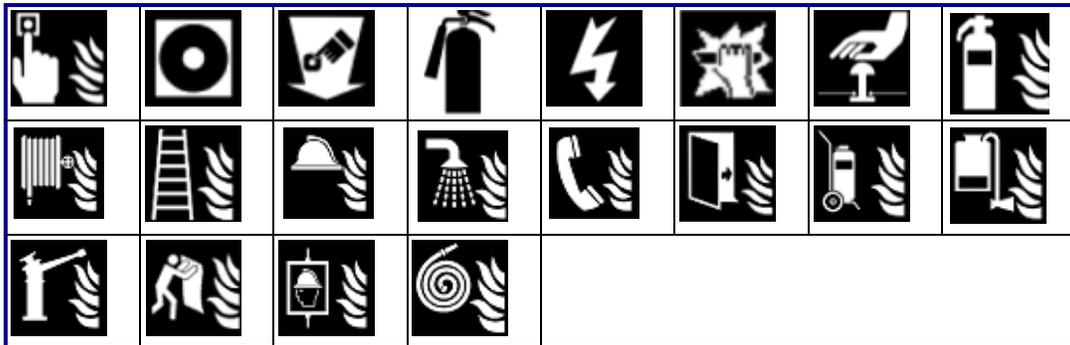
電気

	μ	\cap
\circ	Ω	\pm
λ	ρ	
	Υ	

終了

EXIT			

火災



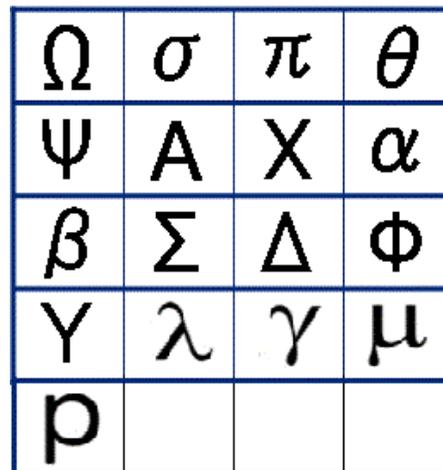
応急措置



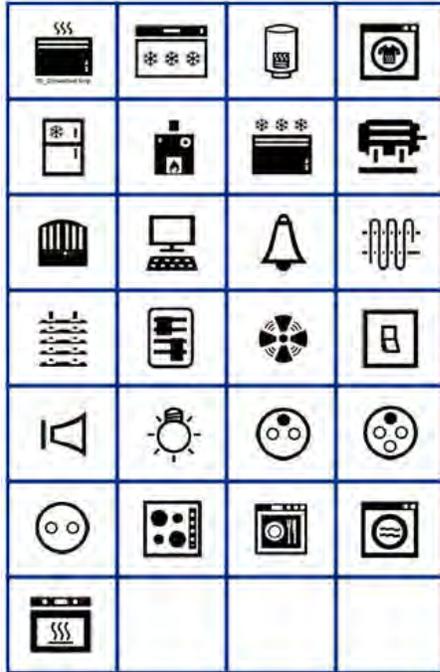
CLP/GHS



ギリシャ語



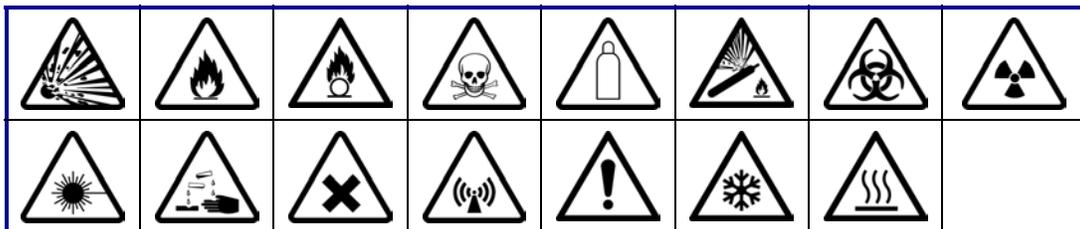
家電



HSID



国際



ラボラトリ

					IVD	LOT	REF	SN
STERILE	STERILE A	STERILE EO		STERILE R				
STERILE	CONTROL	CONTROL -		CONTROL +				
IN ANALYSIS		CONFIDENTIAL						

必須

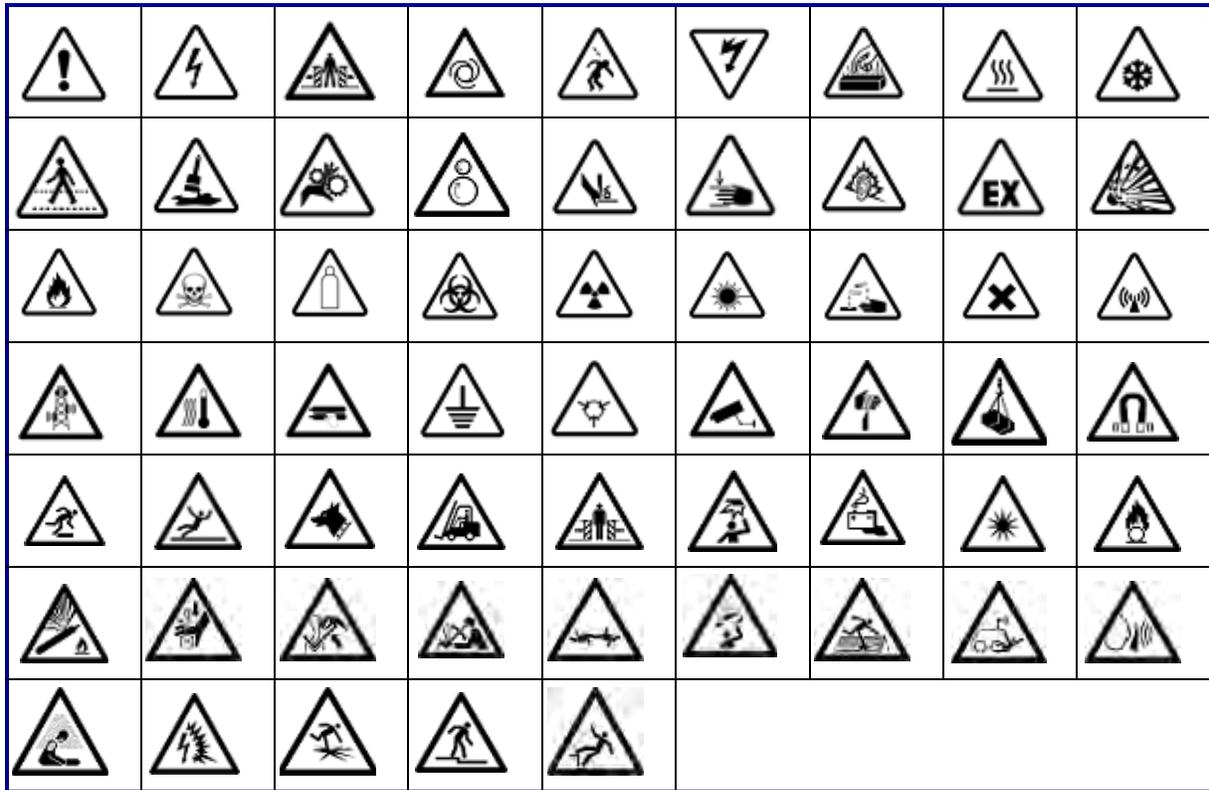
その他

	LEAD FREE	
	TM	

梱包

PPE

警告



WHMIS



安全標識のヘッダー

セーフティサインのヘッダーは、すべての言語で利用できるわけではありません。お使いのプリンターが下記以外の言語に設定されている場合、安全標識を選択すると英語の標識ヘッダーが利用できます。

ブルガリア語	チェコ語																				
<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>									<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>												
英語	フィンランド語																				
<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>													<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>								

フランス語				ドイツ語			
ハンガリー語				イタリア語			
ノルウェー語				ポーランド語			
ポルトガル語				ルーマニア語			

ロシア語	スロヴァキア語																								
<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>									<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>																
スロベニア語	スペイン語																								
<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>									<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>																
スウェーデン語																									
<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>																									

B 法令遵守

該当機関へのコンプライアンスおよび承認

米国

FCC 通知

注： 本装置は、FCC 規則のパート 15 に従い、クラス A デジタル機器の制限に準拠することがテストの結果実証されています。これらの条件は、商業環境で本装置を操作する際の、有害な干渉に対する適切な保護対策として設けられています。本装置は、無線周波エネルギーを生成、使用、および放射する可能性があります。使用説明書に従って設置、使用しない場合は、無線通信に有害な妨害を引き起こす場合があります。

住宅地域における本装置の操作は、有害な干渉を引き起こす場合があります。その場合、ユーザーは自費で干渉を是正する必要があります。

干渉が発生した場合は、干渉を緩和するために以下の対策が推奨されています。

- 干渉に対する装置の向きまたは位置を変える。
- 機器と干渉の間の分離距離を広げる。
- 干渉発生源とは別の電源回路に機器を接続する (該当する場合)。

規制準拠の責任を負う関係者によって明示的に承認されていない変更や修正により、ユーザーの本装置の操作権限が無効となる場合があります。

本装置は FCC 規則のパート 15 に準拠しています。操作にあたっては、以下の 2 つの条件を満たす必要があります。(1) 本装置によって有害な干渉が発生しないこと。および (2) 予期せぬ動作の原因となる干渉を含め、本装置に対するいかなる干渉の受信も了承すること。

Estados Unidos

Aviso de la FCC

Nota: Este equipo se puso a prueba y se confirmó que cumple con los límites para un dispositivo digital de Clase A, conforme a la Parte 15 de las Regulaciones de la Comisión Federal de Comunicaciones (Federal Communications Commission, FCC). Estos límites se han diseñado para proporcionar protección razonable contra interferencias perjudiciales cuando el equipo se utilice en un entorno comercial. Este equipo genera, utiliza y puede emitir energía de radiofrecuencia y, si no se instala y se utiliza según el manual de instrucciones, puede ocasionar interferencias perjudiciales en las radiocomunicaciones.

El uso de este equipo en un área residencial puede causar interferencias perjudiciales, en cuyo caso el usuario tendrá que corregir dichas interferencias por su cuenta.

En los casos donde se producen interferencias, se recomiendan las siguientes medidas para ayudar a mitigarlas:

- Volver a orientar o reposicionar el equipo para evitar la interferencia.
- Aumente la distancia de separación entre el equipo y la interferencia.
- Si es posible, conecte el equipo a un circuito eléctrico distinto al de las interferencias.

Los cambios o las modificaciones que no hayan sido aprobados expresamente por la parte responsable del cumplimiento pueden invalidar la autorización que se le otorga al usuario para utilizar el equipo.

Este dispositivo cumple con la Parte 15 de las Regulaciones de la FCC. El uso está sujeto a las siguientes dos condiciones: (1) es posible que este dispositivo no provoque interferencias perjudiciales y (2) este dispositivo debe aceptar cualquier interferencia recibida, incluso aquella que pueda generar un uso no deseado.

カナダ

イノベーション、科学経済開発省 (ISED)

カナダ ICES-003: 情報技術装置 (デジタル装置を含む)

カナダ NMB-003: Équipement de technologie dell'information(incluant les appareils numériques)

CAN ICES-3 (A)/NMB-3(A)

欧州



警告 本製品はクラス A 製品です。国内の環境下では、電波障害を起こすことがあるので、十分な対策が必要な場合があります。



WEEE 指令

欧州の WEEE 指令に従い、本機は各国の規制に従ってリサイクルする必要があります。

RoHS 指令 2011/65/EU、2015/863/EU

本製品は CE マークの認定を受けており、電気・電子機器における特定の危険物質の使用制限に関する 2011 年 6 月 8 日の欧州議会および理事会の欧州連合指令 2011/65/EU に準拠しています。

2015 年 3 月 31 日の EU 指令 2015/863 (RoHS 3) は、制限物質リストに関する欧州議会および理事会の指令 2011/65/EU 付録 II の修正版となります。

電池指令 2006/66/EC



本製品は、コイン形リチウム電池を内蔵しています。左の×印で消された車輪の付いたピンは、欧州指令 2006/66/EC に従った、すべての電池および蓄電池の「個別の収集」を示すためのものです。電池のユーザーは、分類されていない都市廃棄物として電池を廃棄することはできません。この指令は、別々に収集され、使い切った後リサイクルされる使用済み電池および蓄電池の返却およびリサイクルのフレームワークを決定します。現地の規則に従って、電池を廃棄してください。

リサイクルする人への注意

リチウムコイン型電池の取り外し方：

1. プリンターを分解し、メイン回路基盤にあるコイン形リチウム電池を見つけます。
2. 小型のドライバーでホルダーから電池を取り出し、基盤から取り外します。各地の規制に従って廃棄してください。

電池指令 2006/66/EC



本製品には、リチウムイオンまたはニッケル水素充電式バッテリーパックが含まれている場合があります。左の×印で消された車輪の付いたピンは、欧州指令 2006/66/EC に従った、すべての電池および蓄電池の「個別の収集」を示すためのものです。電池のユーザーは、分類されていない都市廃棄物として電池を廃棄することはできません。この指令は、別々に収集され、使い切った後リサイクルされる使用済み電池および蓄電池の返却およびリサイクルのフレームワークを決定します。現地の規則に従って、電池を廃棄してください。

ユーラシア経済連合 (EAEU)



中国

本製品に関連する中国 RoHS 有害物質表は、www.bradyid.com/M510compliance で閲覧できます。

警戒

这个为 A 级产品，在生活环境中，该产品可能会造成无线电干扰。在这种情况下，可能需要用户对于干扰采取切实可行的措施。

仅供应用于非热情的的气候条件下安全使用。

仅适用于海拔 2000m 以下地区安全使用。

台湾

クラス A 宣言

警告：為避免電磁干擾・本產品不應安裝或使用於住宅環境

本製品に関する台湾制限物質封じ込め状況 (RoHS 宣言) は www.bradyid.com/M510compliance でご覧になれます。

輸入業者：

香港商貝迪香港有限公司

臺北市中山區南京東路 3 段 101 號 4 樓

BRADY CORPORATION HONG KONG LIMITED

4th Floor, No. 101, Section 3, Nanjing East Road, Zhongshan District, Taipei City

トルコ

トルコ環境森林省

(電子・電気機器における特定有害物質の使用制限についての指令)。

Türkiye Cumhuriyeti: EEE Yönetmeliğine Uygundur

C ライセンス供与

QR コード生成ライブラリー

QR コード生成ライブラリー

著作権 © 2022 Project Nayuki. (MIT ライセンス)

<https://www.nayuki.io/page/qr-code-generator-library>

本ソフトウェアおよび関連文書ファイル（以下「本ソフトウェア」といいます）の複製を取得するすべての者に対して、本ソフトウェアの使用、複製、変更、結合、出版、配布、サブライセンス、複製物の販売に関する権利を含むがこれに限定されない無制限の取引を行い、また本ソフトウェアを提供される者に対しても、以下の条件の下でこれを許可することを、ここに無償で許可します。

上記の著作権表示およびこの許諾表示は、本ソフトウェアのすべての複製物または相当部分に含まれるものとしします。

本ソフトウェアは「現状のまま」提供され、商品性、特定目的への適合性および非侵害の保証を含むがこれに限定されない、明示または黙示のいかなる種類の保証も伴いません。いかなる場合においても、著作者または著作権者は、契約、不法行為その他いかなる訴えにおいても、本ソフトウェアまたは本ソフトウェアの使用またはその他の取引に起因または関連して生じたいかなる請求、損害またはその他の責任についても、責任を負わないものとしします。

RapidJSON

著作権 © 2015 THL A29 Limited, a Tencent company, and Milo Yip. 無断転載を禁じます。

Tencent 社から RapidJSON のバイナリをダウンロードした場合、RapidJSON のバイナリは MIT License でライセンスされていることに注意してください。

テンセント社から RapidJSON のソースコードをダウンロードした場合、RapidJSON のソースコードは、以下に示すサードパーティのコンポーネントを除き、MIT ライセンスの下でライセンスされており、異なるライセンス条項が適用されることにご注意ください。RapidJSON をお客様ご自身のプロジェクトに統合する場合、MIT ライセンス、および RapidJSON に含まれるサードパーティコンポーネントに適用される他のライセンスに準拠することが必要になる場合があります。ご自分のプロジェクトで問題となる JSON ライセンスを回避するには、JSON ライセンスの下にある唯一のコードが含まれている「bin/jsonchecker/」ディレクトリを除外すれば十分です。

このファイルには、MIT ライセンスのコピーが含まれています。

その他の依存関係およびライセンス：

BSD ライセンスに基づくオープンソースソフトウェア。

The msinttypes r29

著作権 © 2006-2013 Alexander Chemeris

無断転載を禁じます。

ソースコード形式およびバイナリ形式での再配布および使用は、変更の有無にかかわらず、以下の条件を満たす場合に限り許可されます。

- ソースコードを再配布する場合は、上記の著作権表示、この条件一覧、および以下の免責事項を保持する必要があります。
- バイナリ形式で再配布する場合は、上記の著作権表示、この条件一覧、および以下の免責事項を、配布物とともに提供される文書やその他の資料で再現する必要があります。
- 事前に書面による特別な許可を得ずに、著作権者の名前およびその貢献者の名前を、このソフトウェアから派生する製品の推奨または販売促進のために使用することはできません。

このソフトウェアは、リージェントと貢献者によって「現状のまま」提供され、商品性と特定目的への適合性の黙示保証を含むがそれに限定されない、いかなる明示または黙示の保証も放棄されます。本ソフトウェアの使用により生じた直接的、間接的、偶発的、特別、懲罰的、または結果的な損害（代替品またはサービスの調達、使用、データ、または利益の損失、または事業の中断を含むがこれに限定されない）については、それがいかなる方法であれ、契約、厳格責任または不法行為（過失またはその他の行為を含む）の責任論に基づいている場合でも、たとえその損害発生の可能性について知らされていても責任を負わないものとします。

JSON ライセンスに基づくオープンソースソフトウェア。

json.org

著作権 © 2002 JSON.org
All Rights Reserved.

JSON_checker

著作権 © 2002 JSON.org
All Rights Reserved.

JSON ライセンスの条件：

本ソフトウェアおよび関連文書ファイル（以下「本ソフトウェア」といいます）の複製を取得するすべての者に対して、本ソフトウェアの使用、複製、変更、結合、出版、配布、サブライセンス、複製物の販売に関する権利を含むがこれに限定されない無制限の取引を行い、また本ソフトウェアを提供される者に対しても、以下の条件の下でこれを許可することを、ここに無償で許可します。

上記の著作権表示およびこの許諾表示は、本ソフトウェアのすべての複製物または相当部分に含まれるものとします。

本ソフトウェアは、害悪ではなく、有益な目的のために使用されるものとする。

本ソフトウェアは「現状のまま」提供され、商品性、特定目的への適合性および非侵害の保証を含むがこれに限定されない、明示または黙示のいかなる種類の保証も伴いません。いかなる場合においても、著作者または著作権者は、契約、不法行為その他いかなる訴えにおいても、本ソフトウェアまたは本ソフトウェアの使用またはその他の取引に起因または関連して生じたいかなる請求、損害またはその他の責任についても、責任を負わないものとします。

MIT ライセンスの条件：

本ソフトウェアおよび関連文書ファイル（以下「本ソフトウェア」といいます）の複製を取得するすべての者に対して、本ソフトウェアの使用、複製、変更、結合、出版、配布、サブライセンス、複製物の販売に関する権利を含むがこれに限定されない無制限の取引を行い、また本ソフトウェアを提供される者に対しても、以下の条件の下でこれを許可することを、ここに無償で許可します。

上記の著作権表示およびこの許諾表示は、本ソフトウェアのすべての複製物または相当部分に含まれるものとします。

本ソフトウェアは「現状のまま」提供され、商品性、特定目的への適合性および非侵害の保証を含むがこれに限定されない、明示または黙示のいかなる種類の保証も伴いません。いかなる場合においても、著作者または著作権者は、契約、不法行為その他いかなる訴えにおいても、本ソフトウェアまたは本ソフトウェアの使用またはその他の取引に起因または関連して生じたいかなる請求、損害またはその他の責任についても、責任を負わないものとします。